

第267回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和5年2月25日(土)
会 場 ステーションコンファレンス東京 4～6階 (千代田区)
第I会場 (503CD)
第II会場 (503AB)
第III会場 (501A)
第IV会場 (501B)
第V会場 (605BC)
第VI会場 (602AB)
第VII会場 (602CD)
PCセンター (501S)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4～6階
TEL 03-6888-8080

会 長 昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門
新家 俊郎

御 案 内

1. 参加費：会員 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。
2. 受付時間：参加受付 8:30-17:50
PCセンター 8:30-17:30
3. 一般演題発表時間：口演5分、討論2分
4. Award：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。
選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)
Student Award：第II会場：16:10-17:00
Resident Award：第II会場：17:10-18:00
Case Report Award：第I会場：16:10-17:00
Clinical Research Award：第I会場：17:10-18:00
なお、以下の項目が審査の対象となります。
 - 1) 正しい医学用語の使用
 - 2) 発表時間の厳守と態度
 - 3) 考察
 - 4) 質問に対する応答
 - 5) 循環器臨床に対する貢献度表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。
5. その他：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただくかマナーモードに設定して下さい。
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内：

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

評議員会：地方会終了後、第I会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会：第268回地方会は次の通りです。

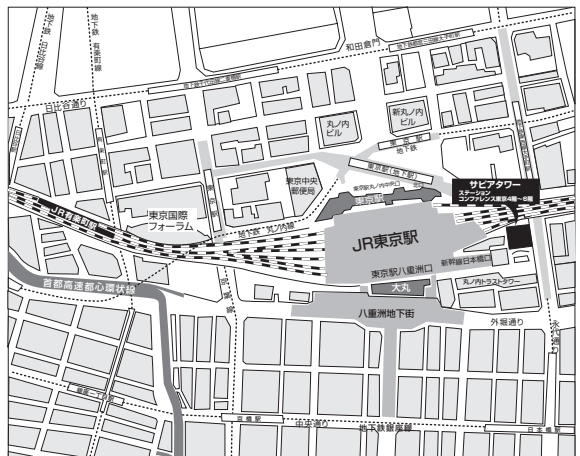
日時：令和5年6月17日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：船橋 伸禎

(国際医療福祉大学市川病院 循環器内科)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。

●Windows でデータを作成された場合：データをお持ち下さい

- USBフラッシュメモリに保存してご提出下さい。
(DVD・FD・MO 等は受付できませんのでご注意ください。)
- OSはWindows 10、アプリケーションはPowerPoint 2013、2019、2021に対応しております。
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- フォントはOS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。
日本語：MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
英 語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフルHD (1,920×1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の30分前までにPCセンターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。
午前の最初のセッションの時間帯ではPCセンターが混雑しますので、お早めにお越し下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

●Macintoshでデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい

- 必ずACアダプターをご用意下さい。



HDMI



HDMI



付属外部出力ケーブル 例

- 動画もご利用いただけますが、再生できることをPCセンターで必ずご確認ください。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMIによるモニター出力が必要です。
ご持参いただくPCからHDMIへの 変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意下さい。 HDMI以外の接続はお受けできませんので予めご了承下さい。
- ご講演時は演台にあるマウス又はキーパッドにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続にUSBポートを使用するため、USBポートがないPCをお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-CからUSB変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- 電源ケーブルを必ずご持参下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の30分前までに、PCセンターで試写を行ってください。PCセンターならびにPCオペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため発表用データのバックアップを必ずご持参下さい。
- ご持参頂くPCに保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。
- PCをお預かり時にお渡しする半券はPC返却時に必要ですので大切に保管下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参ください。

第267回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和5年2月25日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 4～6階（千代田区）

会長：昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門 新家 俊郎

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場	
8:50	開会挨拶						
9:00	会長企画セッションⅠ 9:00-10:30 Post ISCHEMIA時代の CCS診療を考える	9:00 教育セッションⅠ 9:00-10:30 重症心不全にどう立ち向かうか 演者：中村 友哉 (昭和大学病院昭和大学医学部内 科学講座循環器内科学部門) 演者：松本 崇 (湘南鎌倉総合病院循環器内科) 演者：服部 英敏 (東京女子医科大学循環器内科)		9:25 一般演題 9:25-10:30 先天性/肺高血圧 セッション1		9:00 一般演題 9:00-9:50 心筋炎・心筋症 ① セッション2	
10:30	休憩	10:30 休憩		10:30 休憩		9:50 休憩	
10:40	教育セッションⅡ 10:40-12:10 今、ホットなACSの話題 演者：近藤 誠太 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 演者：小林 宣明 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科) 演者：南 尚賢 (北里大学病院循環器内科学) 演者：深町 大介 (日本大学医学部内科学系循環器内科) 演者：沼澤 洋平 (足利赤十字病院心臓血管センター)	10:40 教育セッションⅢ 10:40-12:10 心臓血管外科最前線 演者：高梨秀一郎 (川崎幸病院川崎心臓病センター外科/ 国際医療福祉大学三田病院心臓外科) 演者：山口 裕己 (昭和大学江東豊洲病院心臓血管外科) 演者：田端 実 (順天堂大学医学部心臓血管外科)		10:40 教育セッションⅣ 10:40-12:10 関東甲信越における心不全の地域連携への取り組み 演者：木内 俊介 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 演者：櫻井 誠 (共済会櫻井病院内科) 演者：安達 仁 (群馬県立心臓血管センター循環器内科) 演者：石田 岳史 (さいたま市民医療センター内科)		10:00 一般演題 10:00-11:00 心筋炎・心筋症 ② セッション3	
12:10	休憩	12:10 休憩		12:10 休憩		11:00 休憩	
12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー 1 共催：ヤンセンファーマ株式会社	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー 2 共催：日本メトロニック株式会社		12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー 3 共催：ノバルティスファーマ株式会社/ 大塚製薬株式会社		11:10 一般演題 11:10-12:10 末梢血管 セッション4	
13:10	休憩	13:10 休憩		13:10 休憩		12:10 休憩	
13:20	第14回ダイバーシティ・フォーラム/ 第3回 U-40企画セッション 13:20-14:50	13:20 教育セッションⅤ 13:20-14:50 〔循環器内科学が知っておくべき集中治療のTopics〕 演者：佐藤 直樹 (かわぐち心臓呼吸器病院循環器内科) 演者：渡辺 太郎 (昭和大学医学部集中治療医学講座) 演者：中村 謙介 (帝京大学医学部救急医学講座) 演者：方山 真朱 (自治医科大学麻酔科学・集中治 療医学講座集中治療医学部門)		13:20 会長企画セッションⅡ 13:20-14:30 循環器医が知っておくべき 睡眠時無呼吸症候群の知識		12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー 4 共催：ボストンサイエンティ フィックジャパン株式会社	
14:50	休憩	14:50 休憩		14:30 休憩		13:10 休憩	
15:00	15:00-15:50 コーヒーブレイクセミナー 1 共催：アポットメディカル ジャパン合同会社	15:00 15:00-15:50 コーヒーブレイクセミナー 2 共催：アストラゼネカ株式会社/ 小野薬品工業株式会社		15:00 学術委員会企画セッション 15:00-16:30 TAVI 時代の冠動脈イン ターベーション治療		13:20 一般演題 13:20-14:20 心臓・腫瘍/腫瘍循環器 セッション5	
15:50	休憩	15:50 休憩		16:30 休憩		14:20 休憩	
16:10	16:10-17:00 Case Report Award	16:10 16:10-17:00 Student Award				15:00 15:00-15:50 コーヒーブレイクセミナー 3 共催：バイエル薬品株式会社	
17:00	休憩	17:00 休憩				15:50 休憩	
17:10	17:10-18:00 Clinical Research Award	17:10 17:10-18:00 Resident Award				16:00 一般演題 16:00-16:45 デバイス セッション6	
18:00	閉会式						
18:10	評議員会						

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいませうお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）はそれぞれ単位の登録手続を行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～17:50（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 8:30～10:00 / 10:10～11:40 / 12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）

	第V会場	第VI会場	第VII会場
9:00	一般演題 9:00-10:00 心不全① セッション7	先天性心疾患（日本循環器 学会学術委員会教育セッ ション） 9:00-10:30 「先天性心疾患における肺 高血圧症」	
10:00	休憩		10:00 一般演題 10:00-11:00 不整脈① セッション13
10:10	一般演題 10:10-11:00 心不全② セッション8	10:30 休憩	
11:00	休憩	10:40 日本循環器学会関東甲信越 地方会と日本心臓リハビリ テーション学会関東甲信越 支部の合同シンポジウム 10:40-12:10	11:00 休憩
11:10	一般演題 11:10-12:10 静脈/全般的問題/その他 セッション9	12:10 休憩	11:20 一般演題 11:20-12:10 不整脈② セッション14
12:10	休憩	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー5 共催：日本ベリンガーインゲル ハイム株式会社/ 日本イーライリリー株式会社	12:10 休憩
12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー5 共催：日本ベリンガーインゲル ハイム株式会社/ 日本イーライリリー株式会社	13:10 休憩	12:20 12:20-13:10 ランチョンセミナー7 共催：第一三共株式会社
13:10	休憩	13:20 会長企画セッションⅢ 13:20-14:50 古くて新しいAVNRT	13:10 休憩
13:20	一般演題 13:20-14:30 大動脈 セッション10	14:50 休憩	13:20 一般演題 13:20-14:25 虚血性心疾患① セッション15
14:30	休憩	15:00 15:00-15:50 コーヒーブレイクセミナー5 共催：日本メトロニック株式会社	14:25 休憩
15:00	15:00-15:50 コーヒーブレイクセミナー4 共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/ ファイザー株式会社	15:50 休憩	14:30 一般演題 14:30-15:35 虚血性心疾患② セッション16
15:50	休憩	16:40 研修医セミナー 16:40～17:20 ～Hearts hands-on「剖検心に （冒険心で）触れてみよう!」～ 第1部	15:35 休憩
16:00	一般演題 16:00-17:00 弁膜症① セッション11	17:20 研修医セミナー 17:20～18:00 ～Hearts hands-on「剖検心に （冒険心で）触れてみよう!」～ 第2部	15:40 一般演題 15:40-16:45 虚血性心疾患③ セッション17
17:00	一般演題 17:00-17:50 弁膜症② セッション12	18:00	16:45 休憩
17:50			16:55 一般演題 16:55-17:40 心内膜炎 セッション18

第 I 会場

会長企画セッション I

9:00-10:30

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
座長 (土浦協同病院循環器内科) 角田 恒和

Post ISCHEMIA時代のCCS診療を考える

慢性冠動脈疾患における至適内科治療の意義

(昭和大学歯学部総合内科医学部循環器内科)
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

木庭 新治
横田 裕哉、松本 英成、新家 俊郎

カテーテル検査室で行う冠微小循環障害の評価とその意義

(横須賀共済病院循環器内科)

村井 典史

慢性冠症候群におけるプラーク評価の意義

(東京医科歯科大学循環器内科)

米津 太志

教育セッション II

10:40-12:10

座長 (榊原記念病院循環器内科) 七里 守
座長 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 日比 潔

今、ホットなACSの話題

光干渉断層映像法で紐解く急性冠症候群の発症メカニズムと予後 : insight from TACTICS Registry

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

近藤 誠太
新家 俊郎

MINOCA診断と治療における、背景病態同定の重要性

(日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

小林 宣明

冠動脈イメージングを活用したACS複雑病変の攻略法

(北里大学病院循環器内科学)

南 尚賢

どちらを優先すべき? reperfusion? or LV unloading?

(日本大学医学部内科学系循環器内科)

深町 大介

ACS症例の残存病変に対する血行再建~いつやる?どこまでやる?~

(足利赤十字病院心臓血管病センター)

沼澤 洋平

ランチョンセミナー 1

12:20-13:10

共催: ヤンセンファーマ株式会社

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 樋口 聡

肺高血圧診療のこれからの治療戦略を考える

PAHに対する適切な薬剤選択とその効果

(国際医療福祉大学医学部 循環器内科学/国際医療福祉大学三田病院 肺高血圧症センター)

田村 雄一

第14回ダイバーシティ・フォーラム/第3回 U-40企画セッション

13:20-14:50

座長 (虎ノ門病院循環器センター内科) 播磨 綾子
座長 (博慈会記念総合病院循環器内科) 星加 優

若手循環器医の5つのストーリー ～若手として、そして先輩として

(信州大学医学部附属病院循環器内科)	能見 英智
(筑波大学附属病院循環器内科)	小松 雄樹
(群馬大学医学部附属病院循環器内科)	反町 秀美
(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科)	渡邊 諒
(千葉大学医学部附属病院循環器内科)	鈴木 紀子

コーヒーブレイクセミナー 1 15:00-15:50 共催：アボットメディカルジャパン合同会社
座長 (東邦大学医療センター大森病院) 佐地 真育

MitraClip治療と介入のタイミング

(聖マリアンナ医科大学病院)	出雲 昌樹
(東京女子医科大学病院)	吉川 将史

Case Report Award 16:10-17:00

座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)	中村 正人
座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科)	福田 恵一
審査委員長 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門)	苅尾 七臣
審査委員 (横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学)	田村 功一
審査委員 (日本大学医学部附属内科学系循環器内科学分野)	奥村 恭男
審査委員 (昭和大学歯学部総合内科医学部循環器内科)	木庭 新治

- I-1 感染性心内膜炎を契機に発見された乳頭状線維弾性腫の一例
(茅ヶ崎市立病院循環器内科) 北島 駿
中戸川知頼、所 卓見、児玉 翔、古賀伸太郎、
望月 孝俊
(平塚市民病院心臓血管外科) 笠原 啓史
- I-2 若年発症の急性心筋梗塞を認めた家族内発症をみる多発動脈狭窄および多発動脈内血栓症の一例
(日本大学医学部循環器内科) 増田 光
新井 陸、中島 佑樹、小山 裕、福本 勝文、
村田 伸弘、奥村 恭男
(日本大学医学部心臓血管外科分野) 田中 正史
(日本大学医学部人体病理学分野) 羽尾 裕之
- I-3 弁輪動揺を伴う広範囲な僧帽弁人工弁周囲逆流に対して経皮的弁周囲逆流閉鎖術を施行した一例
(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 三輪 俊介
橋本 剛、葉山 裕真、牧野 健治、矢崎 義行、
中村啓二郎、飯島 雷輔、原 英彦、諸井 雅男、
中村 正人
(東海大学医学部附属病院循環器内科) 上岡 智彦
- I-4 ランゲルハンス細胞組織球症にエルドハイム・チェスター病を合併し冠動脈主幹部狭窄をきたした一例
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 月橋亜矢子
蛭間 貴司、齊藤 暁人、相馬 桂、石田 純一、
武田 憲文、波多野 将、小室 一成
(東京大学医学部附属病院総合研修センター) 遠藤 清良
(東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科) 佐藤 亜紀
(東京大学医学部附属病院心臓外科) 嶋田 正吾

- I-5 妊娠初期に心機能低下をきたした、維持透析患者の一例
 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 湯浅 直紀
 小板橋紀通、原田 智成、反町 秀美、小保方 優、
 加藤 寿光、石井 秀樹

Clinical Research Award

17:10-18:00

- 座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 南野 徹
 座長 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹
 審査委員長 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉
 審査委員 (三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾
 審査委員 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 鈴木 洋
 審査委員 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 小林 欣夫

- I-6 COVID-19肺炎患者における高分解能24時間心電計パラメータの有用性について -preliminary study-
 (防衛医科大学校総合臨床部) 木保 元博
 橋本 賢一、原田 直美

- I-7 心臓サルコイドーシス患者における臨床的特徴と予後の性差について：ILLUMINATE-CSサブ解析
 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 磯 隆史
 前田 大智、末永 祐哉、堂垂 大志、砂山 勉、
 南野 徹
 (北里大学医学部循環器内科学) 鍋田 健
 (高知大学医学部老年病・循環器内科学) 馬場 裕一
 (国立循環器病研究センター心臓血管内科) 北井 豪
 (浜松医科大学内科学第三講座) 成瀬代士久
 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科) 谷口 達典
 (神戸大学大学院循環器内科) 田中 秀和
 (名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科) 奥村 貴裕
 (亀田総合病院循環器内科) 吉岡 賢二

- I-8 冠動脈CTでの低吸収プラーク分画はプラーク不安定性を反映する
 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 谷澤 宏樹
 松本 英成、金子 堯一、新家 俊郎

- I-9 低左心機能の拡張型心筋症症例におけるCTでの細胞外容積分画解析は予後予測に有用である
 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 八島 聡美
 高岡 浩之、高橋 愛、木下真己子、青木 秀平、
 鈴木 克也、佐々木晴香、江口 紀子、小林 欣夫

- I-10 HFpEF患者における心血管イベント発症予測因子としての尿酸値の検討
 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院循環器内科) 辻内 美希
 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 磯 良崇、沼尻 祐貴、近江 真歩、久保田芽生、
 大村 歩、南雲さくら、江波戸美緒、鈴木 洋

第Ⅱ会場

教育セッションⅠ

9:00-10:30

座長 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 出雲 昌樹
座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 中田 淳

重症心不全にどう立ち向かうか

心臓再同期療法が著効した非特異的心室内伝導障害の1例
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

中村 友哉
後閑 俊彦、吉川 浩介、猪口孝一郎、大西 克実、
浅野 拓、新家 俊郎

心不全の急性期治療戦略におけるMitraClip
(湘南鎌倉総合病院循環器内科)

松本 崇

Impellaを含めた補助循環による重症心不全治療
(東京女子医科大学循環器内科)
(東京女子医科大学心臓血管外科)
(東京女子医科大学集中治療科)
(東京女子医科大学大学院重症心不全制御学)

服部 英敏
菊池 規子、春木伸太郎、南 雄一郎、山口 淳一
市原 有起、斎藤 聡、新浪 博
市場 晋吾
布田 伸一

教育セッションⅢ

10:40-12:10

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
座長 (帝京大学医学部内科学講座循環器内科) 上妻 謙

心臓血管外科最前線

転換点を迎えた大動脈弁手術
(川崎幸病院川崎心臓病センター外科/国際医療福祉大学三田病院心臓外科)

高梨秀一郎

広範囲後尖拡大術による僧帽弁形成術 —1つの手術戦略でほぼ全ての機能的僧帽弁閉鎖不全症を治療できる—
(昭和大学江東豊洲病院心臓血管外科)

山口 裕己
中村 裕晶、門脇 輔、上野 洋資、内田 考紀、
山崎 裕起、尾仲 紘輔

完全内視鏡下心臓手術の現状と展望
(順天堂大学医学部心臓血管外科)

田端 実

ランチョンセミナー 2

12:20-13:10

共催：日本メドトロニック株式会社
座長 (東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 小船井光太郎

『明日から役立つ大動脈弁狭窄症診療のTips』

「TAVI low-risk時代におけるASの診断と治療」
(帝京大学医学部附属病院循環器内科)

日置 紘文

「TAVIの最新Topics ～ TAVI後の人生も考える～」
(三井記念病院循環器内科)

阿佐美匡彦

教育セッションV

13:20-14:50

座長 (昭和大学医学部集中治療医学講座) 小谷 透
座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 山本 剛

『循環器内科医が知っておくべき集中治療のTopics』

循環器集中治療の重要性：集中治療医とのコラボ

(かわぐち心臓呼吸器病院循環器内科) 佐藤 直樹

遠隔集中治療患者管理プログラム導入の成果と今後の展望

(昭和大学医学部集中治療医学講座) 渡辺 太郎
五十嵐友美、喜久山和貴、染井 将行、小谷 透

筋トレと集中治療のエビデンスの邂逅 ～今知ってほしい急性期栄養療法と早期離床のありかた～

(帝京大学医学部救急医学講座) 中村 謙介

『静』から『動』へのイメージングモダリティ - 4D-CTを用いた最適な呼吸管理への応用 -

(自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門) 方山 真朱
藤内 研

コーヒーブレイクセミナー 2

15:00-15:50

共催：アストラゼネカ株式会社／小野薬品工業株式会社

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 塚本 茂人

『Fantastic Four時代の心不全薬物治療～適切かつ十分な薬物治療の目指し方～』

(東京女子医科大学循環器内科) 鈴木 敦

Student Award

16:10-17:00

座長 (東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科) 吉村 道博
座長 (日本医科大学総合診療・健康科学) 塚田 (哲翁) 弥生
審査委員長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
審査委員 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 若林 公平
審査委員 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙
審査委員 (東京女子医科大学心臓病センター循環器内科) 山口 淳一

II-1 急性心筋梗塞を発症した貧血を有する後天性血友病患者における抗血小板薬2剤併用療法を早期に終了した一例

(東京医科大学医学科5年) 甲斐 瑠聖
(東京医科大学循環器内科) 藤井 昌玄、中山 知章、高橋 孝通、近森大志郎
(東京医科大学臨床検査医学科) 原田 侑子、一木 昭人、備後 真登、村松 崇

II-2 冠動脈造影中に発症した二次性QT延長症候群の一例

(国際医療福祉大学医学部医学科) Hnin Pwint Aung
(国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 館野 馨、相澤 義泰、門間 雄斗、福岡 良磨、
杉本 一将、吉澤 彰宏、中山 崇、加藤 倫子、
杉村宏一郎、永井 敏雄、河村 朗夫
(国際医療福祉大学塩谷病院循環器内科) 稲見 茂信
(国際医療福祉大学 成田病院循環器内科/塩谷病院循環器内科) 藤本 善英

II-3 冠動脈ステント留置後に冠動脈瘤を形成したIgG4関連冠動脈周囲炎の一例

(杏林大学医学部医学科) 古田 英輝
(杏林大学医学部付属病院循環器内科) 若林 典弘、小山 幸平、三浦 佑介、仲 悠太郎、
新名 良広、三浦 陽平、福土 圭、舟橋紗耶華、
山崎 博之、斉藤 竜平、副島 京子

II-4 虚血性心筋症を合併し左心機能が低下した心房中隔欠損症に対して経皮的心房中隔欠損閉鎖術が成功した一例

(昭和大学医学部医学科5年生) 大橋 良太
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 横田 裕哉、新家 俊郎

II-5 集学的治療により劇的な改善を認めた膠原病合併肺動脈性肺高血圧症の一例

(昭和大学医学部医学科5年生) 横江 美紅
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 樋口 聡、布施 汐理、新井 帝東、谷澤 宏樹、住田 有弘、新家 俊郎

Resident Award

17:10-18:00

座長 (昭和大学横浜市北部病院循環器内科) 落合 正彦
座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳
審査委員長 (東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎
審査委員 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子
審査委員 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 藤田 英雄
審査委員 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊苅 裕二

II-6 心機能とBNPを用いたサルコペニア併存心不全における予後予測因子の検討

(立正佼成会附属佼成病院研修医) 圓谷 和輝
(立正佼成会附属佼成病院) 今村 泰崇、尹 星恵、金谷 允博、百瀬 裕一、神島 一帆、高昌 秀安、鈴木 和仁

II-7 たこつば型心筋症と思われた限局性心筋炎の一例

(南長野医療センター篠ノ井総合病院臨床研修科) 大川慶視郎
(南長野医療センター篠ノ井総合病院循環器科) 小岩 哲士、小山 由志、丸山 拓哉、平森 誠一、小林 隆洋、小塚 綾子、矢彦沢久美子

II-8 COVID-19による急性心筋炎に冠攣縮性狭心症の合併が疑われた1例

(国立国際医療研究センター病院循環器内科) 大内 麻代
江本 桜子、三宅 渉、中川 堯、岡崎 徹、山本 正也、原 久男、廣井 透雄

II-9 ECPELLAで救命し得た成人発症Still病合併劇症型心筋炎の一例

(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 鳥海 修司
加藤 央隼、青木 薫子、小野 亮平、岩花 東吾、小林 欣夫

II-10 心限局性サルコイドーシス臨床診断群と診断されたが剖検で抗ミトコンドリア抗体陽性心筋炎と考えられた一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 濱野 洋
都島 健介、上原 雅恵、網谷 英介、波多野 将、瀧本 英樹、小室 一成
(東京大学医学部附属病院病理部) 上野 智代、安永 瑛一
(東京大学医学部附属病院神経内科) 前田 明子
(東京大学大学院医学系研究科統合ゲノム学) 牛久 綾

第Ⅲ会場

一般演題 セッション1 先天性/肺高血圧

9:25-10:30

座長 (昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター) 藤井 隆成

座長 (山梨県立中央病院小児循環器病センター・小児科) 星合美奈子

Ⅲ-1 降圧薬過剰内服により遷延するショックに対してVA-ECMOを挿入し救命した1例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科)

梶原 啓吾

鮫島 雄祐、杉本 英純、齊藤 翔太、北野 奨真、

矢口 知征、武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

(SUBARU健康保険組合太田記念病院 循環器内科/心臓血管外科)

亀田柚妃花

Ⅲ-2 PGI2製剤で加療中のEisenmenger化したVSDに対してエンドセリン受容体拮抗薬を導入した一例

(東京慈恵会医科大学附属第三病院循環器内科)

碓井 文雄

王 琢矢、増谷 祐人、船木 隆司、三田 光慶、

香山 洋介、宮永 哲、森 力、芝田 貴裕

(東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科)

吉村 道博

Ⅲ-3 肥大型心筋症に膠原病関連肺動脈性肺高血圧症を併発した1例

(杏林大学医学部付属病院循環器内科)

金澤 悠

伊波 巧、竹内かおり、竹内 真介、菊池 華子、

合田あゆみ、河野 隆志

Ⅲ-4 運動負荷右心カテーテル検査により異なる息切れの原因が明らかになった強皮症の二例

(群馬大学医学部循環器内科)

小谷野拓也

反町 秀美、湯浅 直紀、原田 智成、小保方 優、

加藤 寿光、高間 典明、石井 秀樹

Ⅲ-5 GORE Cardioform ASD occluderを用いた multiple ASDの閉鎖

(昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター)

山岡大志郎

石井 瑤子、加藤真理子、長岡 孝太、大山 伸雄、

喜瀬 広亮、藤井 隆成、富田 英

Ⅲ-6 上大静脈および左房への還流を認めた部分肺静脈還流異常症に対する1手術例

(榊原記念病院小児心臓血管外科)

新堀 莉沙

和田 直樹、島田 勝利、桑原 優大、小森 悠矢、

古谷 翼、松沢 拓哉、高橋 幸宏

Ⅲ-7 右冠動脈起始異常を冠動脈プレッシャーワイヤーで評価した一例

(東京女子医科大学循環器内科)

堀内 充

吉川 将史、川本 尚宜、神林 敬悟、秦 武弘、

森岡 佑太、稲垣 裕介、中尾 優、嵐 弘之、

庄田 守男、山口 淳一

Ⅲ-8 低酸素血症をきたした右左シャントを有する心房中隔欠損症の一例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

河原 咲子

望月 泰秀、猪口孝一郎、酒井 陸郎、新家 俊郎

(小児循環器・成人先天性心疾患センター)

大山 信雄、喜瀬 広亮、藤井 隆成、富田 英

Ⅲ-9 冠動脈瘤に肺動脈シャントを合併し、FFRとスワングアンツカテーテルにて治療適応評価をおこなった症例

(帝京大学医学部附属病院循環器内科)

土田 泰之

川嶋 秀幸、横山 直之

教育セッションⅣ

10:40-12:10

座長 (丸の内病院循環器内科) 渡辺 徳
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 塚本 茂人

関東甲信越における心不全の地域連携への取り組み

東京都南部 (大田区・品川区)における心不全地域連携～ JeHCの取り組み～

(東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 木内 俊介
池田 隆徳
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 塚本 茂人、新家 俊郎
(東京都立荏原病院) 冠木 敬之
(JCHO東京蒲田医療センター) 藤井悠一郎
(大森赤十字病院) 島田 基
(池上総合病院) 山田 大介
(牧田総合病院) 小谷 奉文
(松井病院) 橋 秀昭
(東京品川病院) 高木 拓郎
(東京蒲田病院) 小山 豊
(NTT東日本関東病院) 山崎 正雄

心不全パンデミック禍における地区医師会としての取り組み

(共済会櫻井病院内科) 櫻井 誠

群馬県における心不全地域連携の取り組み

(群馬県立心臓血管センター循環器内科) 安達 仁

郡市医師会が主導する心不全共本の運用と多職種情報パスの試み

(さいたま市民医療センター内科) 石田 岳史
百村 伸一
(健英会鈴木医院) 鈴木 英彦
(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 藤田 英雄
(大宮医師会) 松本 雅彦

ランチオンセミナー 3

12:20-13:10

共催：ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 望月 泰秀

僧帽弁インターベンションのための心エコー図評価～治療を計画し、合併症を避ける～

(榊原記念病院循環器内科) 泉 佑樹

会長企画セッションⅡ

13:20-14:30

座長 (東京医科大学循環器内科学分野) 椎名 一紀
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 安達 太郎

循環器医が知っておくべき睡眠時無呼吸症候群の知識

睡眠時無呼吸症候群と高血圧

(虎の門病院循環器センター内科・睡眠呼吸器科) 富田 康弘

睡眠時無呼吸と心不全の話題

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 葛西 隆敏

睡眠時無呼吸症候群と心房細動

(日本医科大学付属病院循環器内科) 岩崎 雄樹

学術委員会企画セッション

15:00-16:30

座長（北里大学医学部循環器内科学） 下浜 孝郎

TAVI 時代の冠動脈インターベーション治療

TAVIに関する最近の動向と課題

（千葉大学医学部附属病院循環器内科・冠動脈疾患治療部）

北原 秀喜

Evolut留置2年後に左冠動脈主幹部のACSを発症した1例

（北里大学病院循環器内科）

橋本 拓弥

目黒健太郎、阿古 潤哉

冠動脈疾患合併重症大動脈弁狭窄症に対する当院の治療戦略

（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）

南本 祐吾

これからのTAVI治療～ post-TAVI PCIを含めて～

（東海大学医学部内科学系循環器内科学）

大野 洋平

第Ⅳ会場

一般演題 セッション2 心筋炎・心筋症 ①

9:00-9:50

座長 (日本大学病院循環器内科) 松本 直也
座長 (国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 加藤 倫子

IV-1 左室内血栓による全身塞栓症をきたした拡張型心筋症の一例

(日本大学医学部循環器内科) 島田 えりか

小嶋 啓介、高橋くらはら、八田 拓海、福本 勝文、
新井 陸、村田 伸弘、遠山 一人、奥村 恭男
(日本大学医学部心臓外科) 林 祐樹、田中 正史

IV-2 心室中隔を起源とする心室頻拍波形から心臓サルコイドーシスを疑い診断に至った2例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 山本 祐実

中村 友哉、鈴木 健悟、金子 堯一、新家 俊郎
(昭和大学医学部法医学講座) 松山 高明

IV-3 CoVID-19感染に関連した劇症型心筋炎の一例

(済生会横浜市東部病院循環器内科)

村井 篤弥
伊藤 良明、山脇 理弘、小林 範弘、毛利 晋輔、
堤 正和、本多 洋介、牧野 憲嗣、知識 俊樹、
白井 重光、水澤 真文、山口 航平、中野 孝英、
岸田登志彦、深川 知哉、香西 裕樹、瀬戸長雄介、
合田秀太郎、谷中 夏海

IV-4 冠攣縮を伴う再発性たこぼし心筋症の1例：再発への適切なアプローチとは？

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 鈴木 隆誠

高橋 徳仁、遠藤 裕久、小野里匠也、山本 陽平、
西山 大樹、土肥 智貴、岩田 洋、藤本進一郎、
南野 徹

IV-5 多彩な症状を呈した好酸球性心筋炎一例

(埼玉石心会病院) 門間 周

岩崎 司

IV-6 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)に好酸球性心筋炎を合併した1例

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 伊藤 貢世

三輪 俊介、能戸 辰徳、豊田 康豪、栗屋 徹、
橋本 剛、矢崎 義行、中村啓二郎、飯島 雷輔、
原 英彦、諸井 雅男、中村 正人
(東邦大学医療センター大橋病院病理診断科) 高橋 啓

IV-7 冠攣縮と炎症細胞浸潤を伴い拡張型心筋症様リモデリングを呈した1例

(日本鋼管病院循環器内科) 市川 沙綾

酒井 哲郎、斎藤 丈、細川 哲、李 慧玲
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 望月 泰秀、新家 俊郎

一般演題 セッション3 心筋炎・心筋症 ②

10:00-11:00

座長 (杏林大学保健学部臨床工学科/医学部循環器内科兼担) 坂田 好美
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 金子 堯一

IV-8 乏しい輸血歴にもかかわらず発症したヘモクロマトーシスで急激な心不全増悪の経過をたどった一例
(防衛医科大学校病院循環器内科) 大原 悠
内藤 朱美、長友 祐司、姫野 雅史、前川原雅史、
弓田 悠介、安田理紗子、東谷 卓美、難波 貴之、
池上 幸憲、眞崎 暢之、足立 健
(防衛医科大学校病院放射線科) 林 克己

IV-9 急激な経過を辿り、出血性合併症のため救命し得なかった劇症型リンパ球性心筋炎の1例
(群馬大学医学部附属病院循環器内科) 久野 貴弘
滝沢 大樹、佐野 幸恵、天内 士郎、石橋 洋平、
高間 典明、石井 秀樹

IV-10 抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎に合併し心サルコイドーシスに似た形態を呈した左室機能障害の一例
(長野市市民病院循環器内科) 野本 史佳
高松 利文、板垣 惟、田中 気宇、持留 智昭、
笠井 俊夫、池田 宇一

IV-11 M蛋白陰性かつPYPシンチグラフィでgradeⅢ集積を認めたが、AL-λ型心アミロイドーシスの確定診断を得た1例
(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 河野 優斗
西川 理孝、齋藤 史哉、渡邊 諒、正和 泰斗、
伊波 秀、豊田 茂

IV-12 外科弁機能不全に対してTAV in SAVを施行し、術後ストレス誘発性心筋症を発症した一例
(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 鈴木立二郎
戸倉 通彰、廣瀬 優、西野 節、金谷 智明、
佐久間理史、阿部 七郎、豊田 茂
(獨協医科大学病院心臓・血管外科) 武井 祐介、柴崎 郁子、福田 宏嗣

IV-13 高頻拍ペーシングから心室細動が誘発されたことを契機に診断された心臓サルコイドーシスの一例
(NTT東日本関東病院循環器内科) 根本 脩平
佐藤 高栄、大西 哲、河合 良樹、竹山 誠、
桂 有智、澤田 直子、割澤 高行、持田高太郎、
松下匡史郎、安東 治郎、山崎 正雄

IV-14 冠動脈疾患患者の経過中に心トランスサイレチンアミロイドーシスの診断となった一例
(日本赤十字社医療センター第一循環器内科) 黒木菜見人
和田 七海、越田 直也、堀江 華奈、小林 裕貴、
山本 溪介、瀧澤 雅隆、魚住 博記、池ノ内 浩

IV-15 STの再上昇後に心破裂を合併した心尖部たこつぼ型心筋症の一例
(榊原記念病院循環器内科) 石橋 典幸
樋口 亮介、関 侑華、七里 守、磯部 光章
(榊原記念病院心臓血管外科) 在國寺健太

一般演題 セッション4 末梢血管

11:10-12:10

座長 (上尾中央総合病院心臓血管センター循環器内科) 緒方 信彦
座長 (昭和大学横浜市北部病院心臓血管カテーテル室) 岡部 俊孝

IV-16 急性下肢虚血の原因が膝窩動脈瘤であった1例
(日立製作所ひたちなか総合病院循環器内科) 川面 貴彦
崔 星河、磯崎 大寿、藤原 崇、川村 龍、
悦喜 豊、山内 孝義
(日立製作所日立総合病院心臓血管外科) 松崎 寛二、渡辺 泰徳

- IV-17 両側重症上肢虚血に対して血管内治療を施行し5指の切除を免れた1例
 (国立病院機構災害医療センター) 野田 信吾
 瀬上 将太、清水 茂雄、佐々木 毅、大野 正和、
 近江 哲生、白井 康大、榊原 温志、渡辺 敬太、
 土屋 勇輔、早坂 和人、土谷 健、田原 智大、
 下里 光、長澤 領、齊藤 洋子
- IV-18 高度腎機能障害を有する両側閉塞性動脈硬化症に対し非造影で診断治療した一例
 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 鈴木 敏晃
 若林 公平、日野 翔平、石永 智之、相澤 直樹、
 柴田 恵多、古屋 貴宏、佐藤 千聡、西蔵 天人、
 池田 尚子、菊地 美和、丹野 郁
- IV-19 外傷性鎖骨下動脈損傷に対して鎖骨下動脈ステントグラフト留置術を施行し救命し得た1例
 (新潟県立中央病院) 古瀬 博規
 西川 尚、関谷 祐香、上野 陽平、萱森 裕美、
 渡邊 達
- IV-20 広範な血栓性LEADに対して血管内治療および外科的治療で救肢し得た一例
 (関東労災病院循環器内科) 久松菜未子
 吉竹功央一、辻畑志帆子、新井 脩平、大星 麻衣、
 荒井 研、山口 薫、渡邊 則和、柴田 正行、
 並木 淳郎
- IV-21 膝窩動脈瘤に伴う急性下肢動脈閉塞症に対してハイブリッド治療が奏功した一例
 (東京ベイ浦安市川医療センター循環器内科) 浅野 和宏
 (横須賀市立うままち病院循環器内科) 荒木 浩、黒木 茂
 (横須賀市立うままち病院心臓血管外科) 田島 泰、安達 晃一
- IV-22 AAAステントグラフト術後CFA閉塞に対してEVTで治療に成功した一例
 (春日部中央総合病院) 石垣 成紘
 安藤 弘
 (昭和大学横浜市北部病院) 木戸 岳彦、嶋津 英、藤岡 立樹、成井 崇朗、
 伊藤 有輝、大倉 武
- IV-23 ネフローゼ症候群で両側下肢動脈に奇異性多発血栓をきたした一例
 (旭中央病院循環器内科) 三輪 宏美
 早川 直樹、神田 順二

ランチオンセミナー 4 12:20-13:10 共催：ポストンサイエンティフィックジャパン株式会社
 座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
 コメンテーター (横須賀共済病院循環器内科) 大久保健史

AF Total Management WATCHMAN FLX™ OVERVIEW

『WATCHMAN FLX™がもたらす臨床的意義』
 (川崎幸病院循環器内科) 桃原 哲也

『WATCHMANの適応はどこにいる？～エビデンスからみるLAACの適応～』
 (上尾中央総合病院循環器内科) 林 健太郎

『WATCHMAN FLX™による左心耳閉鎖の実際～適応決定からフォローアップまで～』
 (土浦協同病院循環器内科) 久佐 茂樹

一般演題 セッション5 心膜・腫瘍/腫瘍循環器

13:20-14:20

座長 (筑波大学附属病院循環器内科) 家田 真樹
座長 (がん・感染症センター都立駒込病院循環器内科) 北原 康行

IV-24 経カテーテル的腫瘍生検が診断に寄与した大動脈原発粘液腫の一例

(足利赤十字病院研修医2年目) 山崎 雄友
(足利赤十字病院循環器内科) 沼澤 洋平

IV-25 大腸菌による化膿性心膜炎を発症し収縮性心膜炎に至った1剖検例

(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 齊藤 一平
佐川雄一郎、清水 厚哉、山口 雄大、高橋 怜、
小田 惇仁、新井 紘史、村田 和也、萬野 智子、
浅野 充寿、鈴木 秀俊、志村 吏左、有馬 秀紀、
倉林 学、山内 康熙
(東京医科歯科大学循環制御内科学) 合屋 雅彦、笹野 哲郎

IV-26 左心室原発性血管腫の1例

(東京医科大学医学部循環器内科) 大森 麻由
中島 悠希、松尾 礼、寺澤 無量、小菅 寿徳、
近森大志郎

IV-27 左房内血栓が疑われたが、経食道心エコー図で左房壁内血腫と診断し得た1例

(筑波メディカルセンター病院循環器内科) 田邊 好秀
仁科 秀崇、大澤 匠、越智 明德、桑山 明宗、
高岩 由、篠内 和也、秋山 大樹、相原 英明、
文藏 優子、野口 祐一

IV-28 Campylobacter Coliによる心外膜炎の一例

(長野医療生活協同組合長野中央病院循環器内科) 林 充那登
板本智恵子、深澤 晶、齊藤 和紀、山本 博昭、
河野 恆輔

IV-29 オシメルニチブにより左室収縮能低下をきたした肺腺癌の一例

(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 呉 元喜
土至田 勉、鈴木 洋

IV-30 免疫チェックポイント阻害薬中止後に急性心筋炎を発症した2症例

(国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター) 田村 祐大
田村 雄一、山田 健太、谷口 浩久、岩澤 仁、
矢田 浩崇

IV-31 COVID-19ワクチン接種後の収縮性心膜炎の一例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 布施 汐理
谷澤 宏樹、後閑 俊彦、樋口 聡、新家 俊郎、
新井 帝東

コーヒーブレイクセミナー 3

15:00-15:50

共催：バイエル薬品株式会社

座長 (昭和大学歯学部総合内科医学部循環器内科) 木庭 新治

「Worsening heart failure後の再入院予防マネジメント」

(富山大学学術研究部医学系内科学 (第二)) 絹川弘一郎

一般演題 セッション6 デバイス

16:00-16:45

座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 藤野 紀之

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 猪口孝一郎

IV-32 経皮的心筋焼灼術難治性であった心房細動が経皮的僧帽弁クリップ術により洞調律化した僧帽弁逆流症の一例

(湘南鎌倉総合病院循環器内科)

黒住 篤優

水野 真吾、小崎 遼太、落合 智紀、山口 昌志、

森山 典晃、飛田 一樹、松本 崇、穴戸 晃基、

山中 太、田中 稜、村上 正人、高橋佐枝子、

齋藤 滋

IV-33 洞不全症候群に対し鎖骨下静脈穿刺でペースメーカー植え込みを試み左内胸動脈を損傷し血胸となった一例

(関東中央病院循環器内科)

松生真貴子

明城 正博、杉下 靖之、田部井史子、伊藤 敦彦

(関東中央病院心臓血管外科)

川崎 暁生

IV-34 大動脈弁・僧帽弁置換術+メイズ術後の心原性ショックに対してImpellaによる補助循環が奏功した一例

(日本医科大学付属病院心臓血管外科)

茅原 一登

泉二 佑輔、村田 智弘、太田 恵介、網谷 亮輔、

上田 仁美、森嶋 素子、丸山 雄二、佐々木 孝、

宮城 泰雄、石井 庸介

(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)

中田 淳、山本 剛

IV-35 3Dマッピングを併用することで効果的なTV-ICD植え込み術を施行し得た前壁中隔心筋梗塞後の一例

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

田原 紘樹

和田 遼、矢野 健介、土橋慎太郎、篠原 正哉、

木内 俊介、藤野 紀之、天野 英夫、池田 隆徳

IV-36 心房細動カテーテルアブレーション穿刺部の止血デバイス(Perclose)の安全性と安全な使用のための当院の工夫

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科)

飯田圭太生

増山 大樹、齋藤 郁太、金井 理晃、前野 英孝、

北川 善之、南 健太郎、豊田 茂

IV-37 十二誘導心電図の日内変動を生じるブルガダ症候群に対してS-ICDのSMART PASS機能が有効であった1例

(獨協医科大学心臓血管・循環器内科)

前野 栄孝

増山 大樹、金井 理晃、飯田圭太生、齋藤 郁太、

北川 善之、南 健太郎、豊田 茂

(那須赤十字病院循環器内科)

景山 倫也

第V会場

一般演題 セッション7 心不全 ①

9:00-10:00

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元
座長 (北里大学医学部循環器内科) 箸方 健宏

- V-1 甲状腺腫瘍(Plummer病)が慢性心不全の急性増悪の原因であった高齢無表情型機能亢進症の1例
(総合高津中央病院心臓血管センター) 山内 靖隆
福田 正浩、山田 康太、高木 友誠、岡田 拓也、
宮本 明
- V-2 急性から亜急性期心不全に対するダバグリフロジンの効果
(日本大学医学部循環器内科) 宮川 真継
斎藤 佑記、北野 大輔、溝渕 公規、奥村 恭男
- V-3 HF p EF症例は心外膜側の収縮異常をきたしている・左室駆出ドップラー peak後の後半の時間が延長している
(新潟万代病院循環器内科) 田村 真
- V-4 持続性心房細動の洞調律化により、左右短絡率改善を認めた心房中隔欠損症の1例
(国立病院機構横浜医療センター循環器内科) 芹川 直輝
高橋 実来、犬塚 慶、菊池 健介、菊池 春香、
坂井 政之、松井 優子、前田 遼造、塚本 圭、
齋藤 貴士、森 文章
- V-5 アドバンス・ケア・プランニングを意識して加療した難治性心不全の一例
(東京臨海病院循環器内科) 西嶋 瞭
右田 卓、江渕 康柔、河内 啓子、向後 隆章、
園田 和正、野本 和幹
- V-6 巨大両心房を伴う遠隔期術後心不全にヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) が著効した一例
(自治医科大学附属病院内科学部門循環器内科) 和地 純佳
青山 泰、桂田 健一、原田 顕治、荻尾 七臣
- V-7 治療抵抗性の病態を呈した腸骨動脈瘤の静脈穿破によるうっ血性心不全の一例
(国立病院機構信州上田医療センター循環器内科) 杉山 芙美花
高橋 済、有賀 智輝、井出 翔吾、森田 岳宏、
阿部 直之
- V-8 心臓MRIが心筋障害の原因検索に有用であったSLE関連心膜炎の一例
(武蔵野会TMGあさか医療センター循環器内科) 橋本 直起
春田 裕典、堀 祐輔、門野 越
(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科) 山田 顕正、藤戸 秀聡、平田 脩、村田 伸弘、
奥村 恭男

一般演題 セッション8 心不全 ②

10:10-11:00

座長 (北里大学医療衛生学部) 東條美奈子
座長 (関東中央病院循環器内科) 田部井史子

- V-9 長期の補助循環管理を行ったLMNA遺伝子変異拡張型心筋症の一例
 (信州大学医学部附属病院循環器内科) 宮城 拓弥
 能見 英智、植木 康志、南澤 匡俊、吉江 幸司、
 加藤 太門、三枝 達也、海老澤聡一郎、
 岡田 綾子、元木 博彦、桑原宏一郎
- V-10 イバブラジンの投与を契機にReverse remodelingが得られた拡張型心筋症の一例
 (帝京大学医学部附属溝口病院第四内科) 池田 佳之
 白鳥 宜孝、横井 樹、木村 隆大、高橋 慎司、
 青柳 貴、鈴木 伸明、速水 紀幸
 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 上妻 謙
- V-11 高度冠動脈狭窄を伴う、甲状腺クリーゼによる心原性ショックを発症した一例
 (武蔵野赤十字病院循環器科) 菊地晃太郎
 岸上 哲也、内藤 倫人、加地 大悟、照井 麻央、
 堀江 知樹、大方信一郎、長瀬 将、埜本 優太、
 三澤 透、宮崎 亮一、金子 雅一、李 哲民、
 永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志
 (武蔵野赤十字病院内分泌代謝科) 富野 祐希、杉山 徹
 (東京医科歯科大学病院循環器内科) 笹野 哲郎
- V-12 心臓再同期療法とImpella補助下にMitraClipを施行した心サルコイドーシスの一例
 (獨協医科大学病院心臓血管内科/循環器内科) 井上 莉里
 増山 大樹、正和 泰斗、北川 善之、南 健太郎、
 伊波 秀、金谷 智明、豊田 茂
- V-13 症候性てんかんに伴うけいれん重積を契機に発症したカテコラミン心筋症の1例
 (山梨厚生病院循環器内科) 武井 俊樹
 中川 和也、秋山裕一郎、後藤 剛顕、相沢 聖子、
 菅原 知沙、望田 哲司、松村 国佳、浅川 哲也
- V-14 心臓MRIで心筋線維化の割合が低いAcromegalic Cardiomyopathy
 (神奈川県立循環器呼吸器センター循環器内科) 結城 翔多
 井口 公平、石井 怜、木下 恵、西郷 紗絵、
 中山 尚貴、福井 和樹
 (横浜市立大学附属病院放射線診断科) 加藤 真吾
- V-15 侵襲的心肺運動負荷試験により診断に至った駆出率の保たれた心不全の一例
 (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 篁 悠太
 金子 智洋、堂垂 大志、砂山 勉、中出 泰輔、
 栗田 梓、遠藤 裕久、鍵山 暢之、黒田 俊介、
 末永 裕哉、清水 逸平、南野 徹
 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小保方 優

一般演題 セッション9 静脈/全般的問題/その他

11:10-12:10

座長 (国立病院機構相模原病院循環器科) 森田有紀子
 座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 皆月 隼

- V-16 深部静脈血栓症を合併した妊娠患者2例に対する抗凝固療法の検討
 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 石井 優紀
 手塚 隆弘、和田 大輔、田代 一真、土至田 勉、
 磯 良崇、江波戸美緒、鈴木 洋

- V-17 右鎖骨下静脈血栓に対してカテーテル吸引術が有効であった一例
 (聖路加国際病院循環器内科) 奥井 健太
 西畑 庸介、増田 慶太、小宮山伸之
- V-18 転移性リンパ腫に伴う深部静脈血栓症に対しステント留置術を行なった一例
 (昭和大学横浜市北部病院循環器内科) 伊藤 有輝
 磯村 直栄、大倉 武、石垣 成紘、薄元宗一郎、
 成井 崇朗、藤岡 立樹、嶋津 英、木戸 岳彦、
 岡部 俊孝、荒木 浩、落合 正彦
- V-19 SGLT2阻害薬内服患者に生じた正常血糖ケトアシドーシスの一例
 (菊名記念病院循環器内科) 千葉 雄太
 近江 真歩、木村 太朗、椎貝 勝、武藤 光範、
 本江 純子
 (国民健康保険富士吉田市立病院循環器内科) 沼尻 祐貴
 (昭和大学横浜市北部病院循環器内科) 大山 祐司
 (菊名記念病院総合診療科) 高畑 洋
- V-20 ウェアラブル心電計によるアイスホッケー女子日本代表選手における渡航時差の影響の評価—症例報告
 (日本医科大学武蔵小杉病院臨床研修医) 三谷 健人
 塚田 弥生
- V-21 冠動脈肺動脈瘻に合併した冠動脈瘤破裂による心タンポナーデの一例
 (新百合ヶ丘総合病院内科) 河俣 僚太
 (新百合ヶ丘総合病院循環器内科) 土方 禎裕、吉光寺直哉、秋元 耕、前野 遼太、
 福島 琢、佐藤 弘典、高橋 良英、櫻井 馨、
 畔上 幸司
- V-22 左心耳内血栓を伴った頻脈性心房細動による急性心不全に対してIMPELLA CPでの全身管理が奏功した一例
 (川崎幸病院循環器内科) 谷崎 友香
 桃原 哲也、福永 博、大西 隆行、羽鳥 慶、
 福富 基城、高橋 英雄、斎藤 直樹、安藤 智、
 保科 瑞穂、佐々木法常、和田 真弥、山本 周平、
 渡邊 一平
- V-23 カルシフィラキシスの1例
 (三井記念病院循環器内科) 大島 旭
 堀内 優、北村 駿、久米 里実、川上 俊成、
 権田 勇樹、手塚 匠海、芦浦 大輝、石沢 太基、
 関口 将大、野中 英彰、阿佐美匡彦、矢作 和之、
 湯澤ひとみ、小宮山浩大、田中 旬、青木 二郎、
 田邊 健吾
 (三井記念病院総合内科) 峯村 信嘉
 (三井記念病院病理診断科) 森田 茂樹

ランチオンセミナー5

12:20-13:10

共催：日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社
 座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 住田 有弘

「老化の観点から生活習慣病を考える」

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学)

南野 徹

一般演題 セッション10 大動脈

13:20-14:30

座長 (昭和大学外科学講座心臓血管外科学部門) 青木 淳
座長 (東京都済生会中央病院循環器内科) 鈴木 健之

- V-24 亜急性期心筋梗塞で発見された椎体破壊を伴う梅毒性胸部大動脈瘤の一例
(東京都健康長寿医療センター循環器内科) 李 惠
原田 和昌、石川 譲治、坪光 雄介、藤本 肇、
石山 泰三、村田 哲平、鳥羽 梓弓、小松 俊介、
十菱 千尋、清水 瑠璃、橘 昌利
(東京都健康長寿医療センター心臓血管外科) 河田 光弘、眞野 暁子、村田 知洋
- V-25 治療抵抗性を示すHFpEFの原因が大動脈弓部人工血管部での狭窄だったA型大動脈解離術後の1例
(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科) 大坪啓一郎
福泉 偉、岡島 周平、光永 りさ、田中 匡成、
酒井 伸、関 俊樹、野原 剛、伊藤 祐輔、
岡 英一郎、細川 雄亮、丸山 光紀
(日本医科大学武蔵小杉病院放射線科) 関根 鉄朗
(日本医科大学武蔵小杉病院心臓血管外科) 前田 基博、鈴木 憲治、坂本俊一郎
- V-26 心不全を契機に心エコーで診断された無痛性大動脈解離の一例
(横浜労災病院循環器内科) 本道 春花
長田 淳、川口 琴子、吉田 裕紀、沖殿祐太郎、
藤村公一郎、真鍋 雄二、野田 和里、浅野 駿逸、
大津 和也、福澤 朋幸、田中 真吾、小和瀬晋弥、
青木 元、柚本 和彦
- V-27 遺伝子パネル解析によって治療方針が明確となった非典型的な高齢のLoeys-Dietz症候群の一例
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 青野 仁美
八木 宏樹、武田 憲文、小室 一成
(東京大学医学部附属病院心臓外科) 安藤 政彦、山内 治雄
- V-28 孤立性上腸間膜動脈解離に対して血管内治療が奏功した一例
(日本医科大学付属病院循環器内科) 中島 悠希
坏 宏一、林 洋史、川村 崇、茂澤 幸右、
清水 渉、杉原 史恵、白井 清香、松田 淳也
- V-29 急性大動脈解離に冠攣縮性狭心症を合併した1例
(平塚共済病院循環器内科) 柏 良之輔
村本 容崇、西尾 祥郎、安井 由美、住野 陽平、
飯谷 宗弘、秋吉 基光、岩井 慎介、樋口 晃司、
小林 一士、大西 祐子、佐藤 康弘
- V-30 急性心筋梗塞の緊急冠動脈造影中に機能的血流評価と血管内超音波検査で急性A型大動脈解離を疑った一例
(土浦協同病院循環器内科) 松田 和樹
星野 昌弘、野上 開、坂本 達哉、左山 耕大、
上野 弘貴、長嶺 竜宏、羽生 佳弘、羽田 昌浩、
臼井 英祐、角田 恒和
(東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎
- V-31 Streptococcus pyogenesによる腹部感染性大動脈瘤の一例
(自治医科大学附属さいたま医療センター) 木葉 雄行
福地 貴彦、菅原 斉

V-32 Stanford B型大動脈解離に対するステントグラフト加療後に再解離と破裂を繰り返した一例
(誠馨会千葉メディカルセンター) 松下 明仁
湯本 啓太、長谷川秀臣、齋藤文美恵、服部 隆司、
三原 和平

V-33 Stanford A型急性大動脈解離術後慢性期に偽腔内に新出した血栓により腎梗塞を発症したと考えられる1例

(国家公務員共済連合組合会虎の門病院循環器センター内科) 笹島 陽香
宮本 燎平、大津 裕、播磨 綾子、藤本 陽、
児玉 隆秀

コーヒーブレイクセミナー 4 15:00-15:50 共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/ファイザー株式会社
座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳

高齢心房細動患者への抗凝固療法と治療マネジメント

「高齢心房細動患者へのDOAC安全投与～ on labelと次の一手」
(公益財団法人心臓血管研究所) 鈴木 信也

「薬の特性から抗凝固療法を考える：薬物動態とアドビアランス」
(東京慈恵会医科大学臨床薬理学) 志賀 剛

一般演題 セッション 1 1 弁膜症 ①

16:00-17:00 座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 佐々木晴香
座長 (慶應義塾大学医学部臨床検査科) 鶴田ひかる

V-34 甲状腺機能改善に伴い僧帽弁逆流が改善した一例
(日本大学医学部循環器内科) 増田 光
宮川 正嗣、齋藤 佑記、溝渕 公規、北野 大輔、
奥村 恭男

V-35 生体弁機能不全による薬物治療抵抗性急性心不全に対し経カテーテル大動脈弁留置術が有効であった一例
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 片桐 順史
小倉 邦弘、新井 帝東、酒井 陸郎、千野 沙織、
豊崎 瑛士、吉川 浩介、大石 庸介、福岡 裕人、
近藤 誠太、浅野 拓、新家 俊郎
(昭和大学医学部外科学講座心臓血管外科学部門) 益田 智章、丸太 一人、尾本 正、青木 淳

V-36 弁透視にて弁葉の開放制限を認めず診断に難渋した大動脈弁位人工弁機能不全の一例
(日本大学医学部内科学系循環器内科学) 西脇 時雄
齋藤 佑記、高橋くらら、小嶋 啓介、村田 伸弘、
奥村 恭男
(日本大学医学部外科系心臓血管外科学) 板垣 翔、田中 正史

V-37 大動脈弁尖による左冠動脈入口部閉塞に対して手術加療を行った一例
(榊原記念病院) 勝部 年雄
迎 洋輔、陳 軒、在國寺健太、岩倉 具宏、
下川 智樹

V-38 Paradoxical low-flow/low-gradient severe aortic stenosisに経カテーテル大動脈弁置換術を施行した一例
 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 徳永 友貴
 谷口 陽介、津久井卓伯、伊部 達郎、陣内 博行、
 和田 浩、坂倉 建一、藤田 英雄
 (自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科) 野村 陽平、山口 敦司

V-39 経皮的僧帽弁形成術後に感染性心内膜炎を来した二例
 (湘南鎌倉総合病院循環器科) 横山 裕章
 水野 真吾、松本 崇、山口 昌志、齋藤 滋

V-40 難治性心不全に対し監視下麻酔管理及び経皮的人工心肺補助下の経カテーテル的大動脈弁置換術が奏功した1例
 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 大久保雄右
 谷口 陽介、津久井卓伯、伊部 達郎、陣内 博行、
 和田 浩、坂倉 建一、藤田 英雄
 (自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科) 野村 陽平、山口 敦司

V-41 TAVI術中経食道心エコー図検査で生じた胃粘膜損傷により術後出血性ショックをきたした一例
 (自治医科大学附属病院卒後臨床研修センター) 小淵 雄大
 (自治医科大学附属病院循環器内科) 鈴木 悠介、原田 顕治、小形 幸代、和地 純佳、
 大場 祐輔、船山 大、菊尾 七臣

一般演題 セッション12 弁膜症②

17:00-17:50

座長 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 片岡 明久
 座長 (虎の門病院循環器センター内科) 太田 光彦

V-42 当院で経験したSAPIEN-3留置後Stuck Leafletの2例
 (山梨大学医学部附属病院循環器内科) 川村 碩人
 吉崎 徹、山口 千之、小林 剛、深澤 洗樹、
 江口 実佑、阿部 萌子、安藤 涼太、山田 亮太、
 堀越 健生、須藤 洗司、渡邊 陽介、植松 学、
 中村 和人、黒木 健志、中村 貴光、佐藤 明

V-43 経カテーテル的大動脈弁留置術後における僧帽弁閉鎖不全症に対する系統的なマネージメントを行なった1例
 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 山下 智慶
 小崎 遼太、片桐 順史、千野 沙織、佐藤 俊弥、
 豊崎 瑛士、蜂矢 るみ、大石 庸介、大西 克実、
 福岡 裕人、辻田 裕昭、塚本 茂人、新家 俊郎

V-44 急性側壁心筋梗塞後の重症僧帽弁閉鎖不全症に対してMitraClipを施行した一例
 (川崎幸病院循環器内科) 谷崎 友香
 桃原 哲也、福永 博、大西 隆行、羽鳥 慶、
 福富 基城、高橋 英雄、斎藤 直樹、安藤 智、
 保科 瑞穂、佐々木法常、和田 真弥、山本 周平、
 渡邊 一平

V-45 severe AS、冠動脈3枝病変、両側内頸動脈狭窄を合併し、治療方法の選択に苦慮した1例
 (土浦協同病院循環器内科) 上野 弘貴
 臼井 英祐、星野 昌弘、羽田 昌浩、長嶺 竜宏、
 羽生 佳弘、野上 開、松田 和樹、坂本 達哉、
 角田 恒和

- V-46 経食道心エコー図検査により診断した大動脈弁一尖弁の一例
(日本大学医学部循環器内科) 佐々木 潤
斎藤 佑記
- V-47 急変時対応見直しの契機となった経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)による弁輪破裂の一例
(信州大学医学部附属病院循環器内科) 能見 英智
三枝 達也、春原 大輔、大熊ゆかり、神崎 佑介、
金井 将史、植木 康史、加藤 太門、
海老澤聡一郎、岡田 綾子、桑原宏一郎
(信州大学医学部附属病院心臓血管外科) 山本 高照
- V-48 Y-incision techniqueを用いた弁輪拡大術を併施した大動脈弁置換術の1例
(慶應義塾大学医学部心臓血管外科) 大野 昌利
伊藤 努、石井 直樹、黒尾 健人、和田 健史、
村田 哲、橋本 崇、山下健太郎、泉田 博彬、
松本 順彦、高橋 辰郎、木村 成卓、山崎 真敬、
志水 秀行

第Ⅵ会場

先天性心疾患（日本循環器学会学術委員会教育セッション）

9:00-10:30

座長（筑波大学医学医療系循環器内科）石津 智子
座長（信州大学医学部附属病院循環器内科）元木 博彦

「先天性心疾患における肺高血圧症」

先天性心疾患を伴う肺高血圧症の病態と治療

（東京医科歯科大学病院小児科） 石井 卓

心房中隔欠損症に合併する肺動脈性肺高血圧の治療方針

（東京大学医学部附属病院循環器内科） 相馬 桂

肺動脈閉鎖兼心室中隔欠損における区域性肺高血圧

（東京都立小児総合医療センター循環器科） 前田 潤

成人循環器科に必要な門脈大循環短絡症の心・肺血管統発症 基礎知識

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科） 長谷川早紀

（埼玉医科大学国際医療センター） 中埜信太郎、荒井 隆秀

（自衛隊中央病院） 湯手 庸道

日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム

10:40-12:10

座長（聖路加国際大学大学院看護学研究科）吉田 俊子
座長（昭和大学藤が丘病院循環器内科）磯 良崇

SDGs（Sustainable Development Goals）達成のための心リハの取り組み

外来心臓リハビリテーション参加率向上を目指す多職種連携による患者教育の取り組み

（昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門） 横田 裕哉
木庭 新治、新家 俊郎
（昭和大学藤が丘病院循環器内科） 磯 良崇、鈴木 洋

クラウドファンディングによる地域心リハ活性と人材育成

（新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学） 藤木 伸也
猪又 孝元

横浜市における産官学連携による維持期自己管理心リハに向けたウェアラブルデバイスの開発

（横浜市立大学附属病院循環器内科） 岩田 究
小西 正紹、日比 潔
（シャリテ・ベルリン医科大学、横浜市立大学大学院） 岡村 正嗣
（横浜市立大学附属病院・リハビリテーション部） 折津 英幸
（NTTコミュニケーションズ株式会社） 越野 剛
（日本電信電話株式会社） 税所 修
（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院循環器内科） 水越 慶
（昭和大学藤が丘病院・循環器内科） 磯 良崇
（横浜市立大学医学部リハビリテーション科学） 中村 健

Apple Watchを用いた遠隔心臓リハビリテーションの現状と課題

（榊原記念病院循環器内科） 中山 敦子

アクティブビデオゲームを活用した心臓リハビリテーションの可能性

(順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

齊藤 正和

作山 晃裕、森沢 知之、高橋 哲也

(順天堂大学 保健医療学部理学療法学科/大学院医学研究科循環器内科)

代田 浩之

ランチョンセミナー6

12:20-13:10

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 浅野 拓

「CARTO®3 New Technologyの実臨床における有用性」

(日本大学医学部内科学系循環器内科学分野)

奥村 恭男

(東邦大学大学院医学研究科循環器内科学)

藤野 紀之

会長企画セッションⅢ

13:20-14:50

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 浅野 拓

座長 (東京都立広尾病院循環器科) 深水 誠二

古くて新しいAVNRT

房室結節の構造と機能 ―ヒト不整脈現象への関わりについて―

(昭和大学歯学部全身管理歯科学講座総合内科部門)

井上 紳

一生かけても解明したい、房室結節という名のブラックボックス

(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科)

永嶋 孝一

コーヒーブレイクセミナー5

15:00-15:50

共催：日本メドトロニック株式会社

座長 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 原 久男

「広がるリードスペースメーカーの適応 ～房室同期がもたらしたもの～」

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

大西 克実

研修医セミナー

～ Hearts hands-on 「剖検心に (冒険心で) 触れてみよう！」 ～

普段、直接見ることのできない心臓を実際に手に取って見る、ウェットラボセミナーです。正常の心臓と心疾患の心臓はどう違うのか、その目で見て、その手で触って、感じ取ってみましょう。

講師：松山 高明 (昭和大学医学部法医学講座)

：住田 有弘 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

対象：研修医、専攻医、医学部学生

時間：第1部 16:40～17:20、第2部 17:20～18:00

定員：15名 (第1部)、15名 (第2部) の合計で30名です。

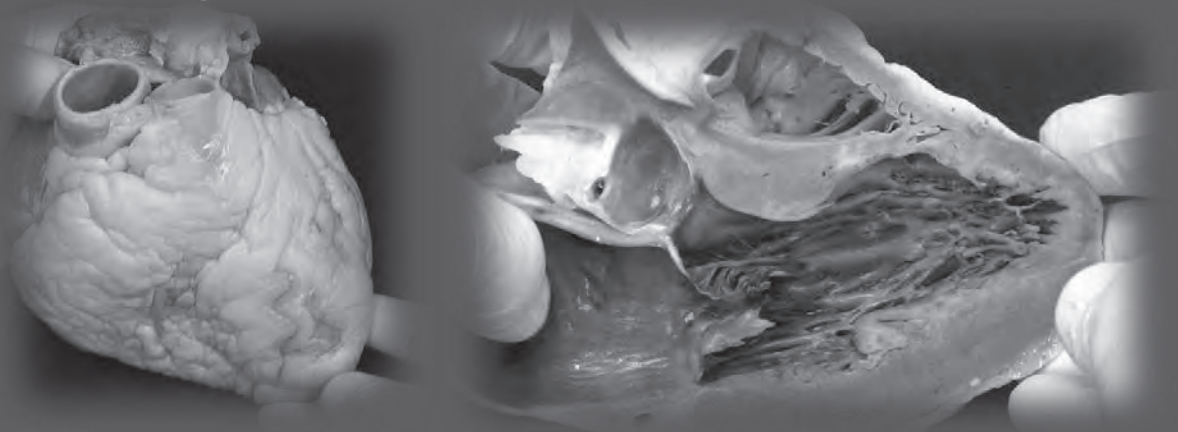
* 地方会HPより事前登録をお願いします。定員に満たない場合には当日参加も受け付けます。

第267回日本循環器学会 関東甲信越地方会

研修医セミナー

Hearts hands-on

～剖検心に（冒険心で）触れてみよう～



対象：研修医、専攻医、医学部学生

普段、直接見ることのできない心臓を実際に手に取って見る、ウェットラボセミナーです。

正常の心臓と心疾患の心臓はどう違うのか、その目で見て、その手で触って、感じ取ってみましょう！

時間：第1部 16:40～17:20, 第2部 17:20～18:00

場所：ステーションコンファレンス東京 6階: 602AB

定員：15名(第1部), 15名(第2部)の合計30人です。

* 事前登録をお願いします。定員に満たない場合には当日参加も受け付けます。

昭和大学医学部 内科学講座 循環器内科学部門
昭和大学医学部 法医学講座, 臨床病理診断学講座



昭和大学

第Ⅶ会場

一般演題 セッション13 不整脈①

10:00-11:00

座長 (土浦協同病院循環器内科) 久佐 茂樹
座長 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 菊地 美和

Ⅶ-1 痙攣を伴う失神に対し、ILRでwide QRSの頻拍を検出し、aberrant conductionを伴うAVRTの誘発をし得た1例

(埼玉県済生会加須病院循環器内科)

菅原 洋平
藤田 元博、岸原 誠、北川 奨悟、菊池 保宏、
木村 祐也、新井 清仁、寺嶋 豊

(東京女子医科大学心臓病センター循環器内科)

柳下 大悟、片岡 翔平

Ⅶ-2 心室単回刺激の反応からnodoventricular fiberがAVNRTの遅延導路に付着していると診断しえた1例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

山本 祐実
中村 友哉、後閑 俊彦、吉川 浩介、猪口孝一郎、
大西 克実、浅野 拓、新家 俊郎

Ⅶ-3 WPW症候群のアブレーションで副伝導路同定にRHYTHMIA HDxのHigh Resolution Mappingが有用であった一例

(昭和大学江東豊洲病院循環器センター循環器内科)

相澤 直樹
石永 智之、鈴木 敏晃、柴田 恵多、古屋 貴宏、
佐藤 千聡、西蔵 天人、池田 尚子、菊地 美和、
若林 公平、丹野 郁

Ⅶ-4 うっ血性心不全と左心耳血栓を合併し治療戦略に苦慮した偽性心室頻拍の一例

(武蔵野赤十字病院循環器科)

高熊 朗
堀江 知樹、大方信一郎、埜本 優太、金子 雅一、
李 哲民、永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志

(東京医科歯科大学医学部付属病院循環制御内科学)

新田 義一、合屋 雅彦、笹野 哲郎

Ⅶ-5 Omnipolar mappingにて左房後壁にspike potentialが記録されそこからNon-PV firingを認めた心房細動の1例

(獨協医科大学医学部心臓・血管/循環器内科)

増山 大樹
斉藤 郁太、金井 理晃、前野 栄孝、飯田圭太生、
北川 善之、南 健太郎、豊田 茂

Ⅶ-6 冠静脈洞内自由壁側の残存心外膜側伝導により維持されていた僧帽弁輪旋回心房頻拍の一例

(土浦協同病院循環器内科)

佐藤 慶和
久佐 茂樹、佐山 耕大、平野 秀典、仲田 恭崇、
土居 惇一、原 聡史、三輪 尚之、蜂谷 仁

Ⅶ-7 僧帽弁置換術後に生じたupper loop reentry心房頻拍の一例

(立川総合病院)

松尾 佑治
佐藤 光希、萩原 明梨、石橋 正毅、柳澤 良晃、
末永 慎吾、太田 雄輔、岸 翔平、那須野暁光、
布施 公一、藤田 聡、池田 佳生、北澤 仁、
高橋 稔、岡部 正昭

Ⅶ-8 MitraClip治療後の心房細動に対するカテーテルアブレーションの成績

(湘南鎌倉総合病院)

水野 真吾
村上 正人、山田 隆史、林 高広、小山 右文、
小寺 順久、齋藤 滋

一般演題 セッション14 不整脈②

11:20-12:10

座長 (さいたま赤十字病院循環器内科) 稲葉 理
座長 (AOI国際病院不整脈先端治療センター) 前田 真吾

Ⅶ-9 RAP(Rotational activation pattern)を指標としたアブレーションが有効であったOMIに伴う心室頻拍の1例

(獨協医科大学医学部心臓・血管/循環器内科) 増山 大樹
斉藤 郁太、金井 理晃、前野 栄孝、飯田圭太生、
北川 善之、南 健太郎、豊田 茂

Ⅶ-10 ILAM guideで緩徐伝導路を同定し得た陳旧性心筋梗塞に合併したVT stormの一例

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 石川 貴将
後閑 俊彦、吉川 浩介、中村 友哉、猪口孝一郎、
大西 克実、浅野 拓、新家 俊郎

Ⅶ-11 巨細胞性心筋炎後に生じた持続性心室頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した1例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 齋藤 郁太
増山 大樹、金井 理晃、前野 栄孝、飯田圭太生、
北川 善之、南 健太郎、豊田 茂

Ⅶ-12 急性心筋梗塞に伴うPVCを契機としたVf stormに対して機械的サポート下で緊急アブレーションを施行した一例

(さいたま赤十字病院循環器内科) 成田 岳
高野 寿一、峯岸 昌代、中田健太郎、磯長 祐平、
加藤 駿一、大屋 寛章、羽田 泰晃、狩野 実希、
高木 崇光、稲村 幸洋、根木 謙、佐藤 明、
大和 恒博、稲葉 理、松村 穰

Ⅶ-13 広範囲にわたる誘導で巨大陰性T波を呈し、たこつば型心筋症との鑑別を要した先天性QT延長症候群の1例

(AOI国際病院循環器内科) 鎌田 龍明
川端美穂子、米内 竜、仲宗根 卓、川島 朋之、
前田 真吾、平尾 見三
(横浜みなと心臓クリニック) 沖重 薫
(AOI八王子病院) 新 博次

Ⅶ-14 2D経食道心エコー図検査で計測した左心耳入口部径から左心耳閉鎖デバイスのサイズを予測する。

(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 青木 秀平
近藤 祐介、鈴木 紀子、龍崎 智子、鳴海 頌子、
仲野 美代、佐々木晴香、木下真己子、高橋 愛、
八島 聡美、高岡 浩之、小林 欣夫

Ⅶ-15 ステロイド治療が奏功せず甲状腺全摘を要したアミオダロン誘発性甲状腺中毒症の1例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研修医) 土居 健太
(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 野崎 侑衣、遠藤 裕久、住吉 まり、加藤 隆生、
黒田 俊介、松原 友美、清水 逸平、土肥 智貴、
岩田 洋、藤本進一郎、南野 徹

ランチョンセミナー7

12:20-13:10

共催：第一三共株式会社

座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 松本 英成

SHD治療 (構造的疾患) の最新の話題 ～ガイドライン改定・抗血栓療法も含めて～

(慶應義塾大学医学部循環器内科) 林田健太郎

一般演題 セッション15 虚血性心疾患 ①

13:20-14:25

座長 (獨協医科大学病院ハートセンター心臓・血管内科/循環器内科) 阿部 七郎
座長 (湘南鎌倉総合病院循環器内科) 高橋佐枝子

VII-16 産褥期に発症した特発性冠動脈解離の1例

(川口市立医療センター循環器科)

新井 基広
足田 匡史、母坪 友太、庄司 泰城、笹 優輔、
須貝昌之助、盛川 智之、林田 啓、磯 一貴、
渥美 渉、立花 栄三、國本 聡

VII-17 川崎病の既往歴があり血管合併症の冠動脈瘤を認める若年男性のCOVID-19感染後のST上昇型心筋梗塞の1例

(日本大学病院循環器内科)

松永 悠路
深町 大介、弓倉 哲郎、渡辺 洋司、門傳 昌樹、
楨田 綾乃、八木 司、小堀 容史、池田 敦、
鈴木 康之、鷲尾 武彦、松本 真明、横山 勝章、
渡辺 和宏、谷 樹昌、菊島 公夫、松本 直也
(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科)
奥村 恭男

VII-18 ACSを契機に発見された冠動脈瘤・左バルサルバ洞動脈瘤の一例

(国立病院機構災害医療センター循環器内科)

下里 光
榊原 温志、齊藤 洋子、田原 智大、瀬上 将太、
土谷 健、土屋 勇輔、近江 哲生、大野 正和、
清水 茂雄
(東京医科歯科大学病院循環器内科)
笹野 哲郎

VII-19 IgG4関連冠動脈周囲炎による不安定狭心症に対して、PCIとステロイド治療が奏功した一例

(公立学校共済組合関東中央病院循環器内科)

古澤 樹
明城 正博、杉下 靖之、田部井史子、伊藤 敦彦

VII-20 COVID-19感染を契機に発見された家族性高コレステロール血症を背景とする心筋梗塞の一例

(JCHO東京新宿メディカルセンター臨床研修医)

西岡 文音
(JCHO東京新宿メディカルセンター循環器内科)
谷地 織、坂本 知也、今村 堂大、檜崎 容史、
齋藤 哲也

VII-21 機械的補助循環下にアブレーションを行い奏功した急性心筋梗塞に合併した心室細動ストームの1例

(日本医科大学付属病院 循環器内科/心臓血管集中治療科)

(日本医科大学付属病院循環器内科)

蜂須賀誠人
岩崎 雄樹、伊藤 紳晃、新井 俊貴、小林 芹奈、
藤本 雄飛、萩原かな子、林 洋史、村田 広茂、
淀川 顕司、清水 渉、浅井 邦也
(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科)
中田 淳、石原 翔、木村 徳宏、福士 圭、
塩村 玲子、澁谷 淳介、宮地 秀樹、山本 剛

VII-22 COVID-19と同時発症した若年血栓性AMIの1例

(日本大学医学部循環器内科)

富松 聡明
村田 伸弘、福本 勝文、新井 陸、奥村 恭男

VII-23 心筋梗塞後に左室自由壁のblow out ruptureが生じたが術後癒着があり左室形成術にて救命できた一例

(湘南藤沢徳洲会病院)

都田 昂
村井 貴裕、山岸 民治

(湘南鎌倉総合病院)

小山 右文

- VII-24 左室後壁に生じた偽性仮性心室瘤の一例
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 鈴木 健悟
中村 友哉、山本 祐実、金子 堯一、新家 俊郎
- 一般演題 セッション16 虚血性心疾患 ②**
14:30-15:35
- 座長 (山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明
座長 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 辻田 裕昭
- VII-25 心原性ショックを来したLMT病変に対してImpellaを挿入しPCIを行った症例
(埼玉石心会病院) 門間 周
岩崎 司
- VII-26 15歳男性に発症した冠攣縮性狭心症の一例
(相澤病院循環器内科) 佃 柊磨
千田 啓介、永原 直輝、井上 航、小口 泰尚、
相澤 克之、鈴木 智裕、安河内 聡
- VII-27 冠攣縮にともなう血栓形成が原因と考えられた急性心筋梗塞の一例
(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 和田 理澄
黒川 孝国、鷲山 雄三、秋山 琢洋、米山晋太郎、
久保田直樹、大久保健志、池上龍太郎、保屋野 真、
尾崎 和幸、猪又 孝元
- VII-28 全身麻酔導入後にST上昇を来した症例
(東京女子医科大学付属八千代医療センター循環器内科) 神崎 隆行
春田 昭二、本田 淳、長岡 宣幸、泊 江里奈、
渡邊正之介、吉川 領亮、李 東レ
- VII-29 薬剤コーティッドステント留置後に抗血小板薬単剤療法下で緊急心室中隔穿孔修復術を実施した心筋梗塞2症例
(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院循環器内科) 中西 亨
水越 慶、松田 央郎
(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
- VII-30 Impact of residual in-stent stenosis on clinical outcomes after DES Placement to calcified lesions
(獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 志村 暢紀
石川 哲也、新井 滯奈、菊池 優太、伊藤 達彦、
竹山 太朗、田村 洋平、近藤 勇喜、華 臻丞、
越川 優里、宇梶 僚晟、福田 怜子、水谷有克子、
中村日出彦、堀 裕一、久内 格、中原 志朗、
板橋 裕史、小林さゆき、田口 功
- VII-31 造影剤によるアナフィラキシーショック後にKounis症候群を来した一例
(筑波大学附属病院) 森田 将平
南 健太郎、平谷 太吾、渡部 浩明、星 智也、
家田 真樹
- VII-32 冠攣縮が原因と考えられたMINOCAの1例
(富士吉田市立病院循環器内科) 浅野 冬樹
若月 大輔、武井 洋介、沼尻 祐貴
(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 鈴木 洋

VII-33 経皮的冠動脈インターベンションに伴う医原性大動脈解離の一例
(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 山本 夏洋
齋藤 佑一、加藤 賢、北原 秀喜、小林 欣夫

一般演題 セッション17 虚血性心疾患 ③

15:40-16:45

座長 (埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 松陰 崇

座長 (平塚共済病院循環器科) 大西 祐子

VII-34 早期再灌流が得られたにも関わらずOozing型左室破裂を発症した急性心筋梗塞の一例
(独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院) 古賀 一輝
沖殿祐太郎、川口 琴子、吉田 裕紀、藤村公一郎、
真鍋 雄二、野田 和里、本道 春花、浅野 駿逸、
大津 和也、福澤 朋幸、田中 真吾、小和瀬晋弥、
長田 淳、青木 元、柚本 和彦

VII-35 経皮的冠動脈形成術中に心房回旋枝穿孔を認め、術後左房壁内血腫が生じた症例
(地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター循環器内科) 藤井 駿
森永 弘章、城谷 翔太、守井 悠祐、岡部 龍太、
櫻井進一朗、塩崎 正幸、宮部 倫典、大塚 佳満、
西村 睦弘、三ツ橋佑哉、加藤 賢、田中 博之

VII-36 抗血栓薬3剤併用療法の内服開始順序からみた遠隔期での服用状況の比較
(総合新川橋病院薬剤部) 黒川 彩香
佐藤 蘭、平山 時恵、松原 嵩
(総合新川橋病院循環器内科) 江口 智也、林 英二郎

VII-37 アセチルコリン負荷負荷陰性、エルゴノビン負荷負荷陽性の冠攣縮性狭心症に冠微小循環障害評価を行った1例
(三井記念病院循環器内科) 大島 旭
矢作 和之、北村 駿、久米 里実、川上 俊成、
権田 勇樹、手塚 匠海、芦浦 大輝、石沢 太基、
関口 将大、野中 英彰、堀内 優、阿佐美匡彦、
湯澤ひとみ、小宮山浩大、田中 旬、青木 二郎、
田邊 健吾

VII-38 肝硬変を合併した冠動脈3枝病変に対し、MICS-CABGとPCIのハイブリッド治療を施行した一例
(横須賀市立市民病院循環器内科) 野田 光里
坂 賢一郎、宮田晋太郎、山口 貴宣、山口 健太、
松本 祐介、鈴木 弘之、木村 一雄
(横須賀市立うわまち病院心臓血管外科) 安達 晃一

VII-39 STEMI症例に対してステント留置直後に急性ステント血栓症をきたした一例
(那須赤十字病院循環器内科) 横山はるか
小泉 諭、梅園 龍、坂田 知久、岩松 浩一、
景山 倫也、大口 真寿、井上 晃男
(獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科) 豊田 茂

VII-40 透析中に生じた冠動脈バイパス術後患者の盗血現象の1例
(聖マリアンナ医科大学医学部循環器内科) 伊藤 伸悟
栗田 真吾、小林 芳邦、御手洗敬信、出雲 昌樹、
石橋 祐記、田邊 康宏、原田 智雄、明石 嘉浩

Ⅶ-41 原因不明の左冠動脈主幹部瘤の完全閉塞により急性心筋梗塞をきたした若年女性の一例
(東京医科歯科大学循環器内科) 野田 誠之
池ノ内 孝、荒木 誠、梅本 朋幸、米津 太志、
吉川 宏、大森 真理、菅野 義典、松田 祐治、
平澤 憲祐、落田 美瑛、滝川 正晃、前嶋 康浩、
合屋 雅彦、笹野 哲郎

Ⅶ-42 PCI後の生理学的指標が多様な変動を示した3症例についての検討
(横浜南共済病院) 木村 茂樹
角田 貴大、宮崎 紘子、三須 彬生、立石 遼、
山口 正男、山上 洋介、加藤 信孝、島田 博史、
一色 亜美、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

一般演題 セッション18 心内膜炎

16:55-17:40

座長 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 江波戸美緒

座長 (聖路加国際病院循環器内科) 浅野 拓

Ⅶ-43 血液培養が陰性で経過した心不全合併感染性心内膜炎の一例
(東京都立広尾病院循環器科) 小野寺 啓
吉田 精孝、小峰 征也、神崎 拓、砂川 昌隆、
津野 航、水沼 吉章、佐々木高史、山岡広一郎、
鯨岡 裕史、新井 智之、稲垣 大、木村 高志、
高橋 正雄、北條林太郎、土山 高明、深水 誠二

Ⅶ-44 感染性心内膜炎による重症大動脈弁閉鎖不全症に対して緊急Konno手術を施行した大動脈弁二尖弁の1小児例
(昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センター) 佐野 俊和
宮原 義典、堀尾 直裕、堀川 優衣、山岡大志郎、
加藤真理子、石井 瑤子、長岡 孝太、清水 武、
大山 伸雄、喜瀬 広亮、藤井 隆成、富田 英

Ⅶ-45 稀な起因菌Lactococcus garvieaeによる感染性心内膜炎の1例
(東京警察病院循環器内科) 唐澤 孝通
野口 祐、奈良 有悟、金子 光伸、門平 忠之、
寺井 知子、笠尾 昌史

Ⅶ-46 三尖弁位感染性心内膜炎に対してICDリード抜去術が奏功した一例
(湘南鎌倉総合病院循環器科) 佐藤 大介
森山 典晃、林 高大、小山 瑛司、飛田 一樹、
穴戸 晃基、山中 太、田中 稷、高橋佐枝子、
齋藤 滋

Ⅶ-47 心臓弁膜症治療後の感染性疣贅を同期造影CTにより明瞭に検出できた2例
(諏訪赤十字病院循環器内科) 藤森 弘樹
榎本 香織、平林 正男、小松 美穂、川口 正徳、
相澤 万象、筒井 洋

Ⅶ-48 感染性心内膜炎に対する僧帽弁置換術後に人工弁感染を発症し、治療に難渋した1例
(昭和大学藤が丘病院初期研修医) 山内 彰人
(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 佐藤 督忠、曾根 浩元、亀田 俊吾、久保田芽生、
辻内 美希、土至田 勉、江波戸美緒、鈴木 洋
(昭和大学藤が丘病院心臓血管外科) 門脇 輔、田中 弘之

スタンフォード大学式 デバイス開発Workshop in 東京

～日頃の医療現場で感じるニーズを医療機器の開発に繋げてみよう！～

主催：日本循環器学会 基本法・5カ年計画検討委員会
会場：ステーションコンファレンス東京 4F [402AB]
開催時間：11:20-14:20

Introduction

Stanford Biodesign 式 医療機器開発

講師：(東京大学大学院医学系研究科循環器内科学) 桐山 皓行

講義 1.

バイオデザインワークショップ

講師：(大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学) 榎田 浩禎
(東北大学大学院医工学研究科) 梶山 愛

講義 2.

振り返り & Wrap Up

講師：(大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学) 榎田 浩禎

※本プログラムは、事前申込制先着12名となります。当日定員となっている場合がございます。

※本プログラム単独受講による、地方会単位取得は致しかねます。予めご了承願います。

※問合せ：日本循環器学会 事務局 基本法・5カ年計画検討委員会

※事前申込はこちらから：



一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部役員)

第4条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
- 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
- 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条

- 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習

- 会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
 6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 7 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

（地方会会長）

第 8 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座

開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。

10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第9条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第10条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第11条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。

13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第12条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第13条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
- 2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。
- 2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。
- 3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。
- 4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

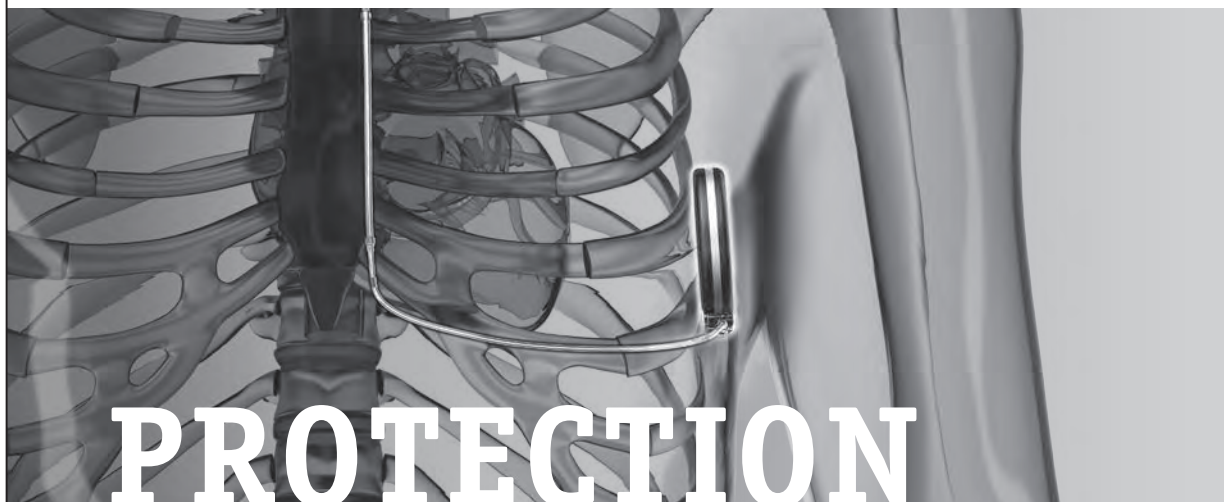
第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

EMBLEM™ MRI S-ICD System

Subcutaneous Implantable Defibrillator



PROTECTION *Without Touching the Heart*

不整脈非薬物治療ガイドライン（2018年改訂版）
S-ICDの適応の推奨

推奨クラス

I	経静脈ICDの植込み適応を満たし、静脈アクセスが困難、もしくは感染の高リスクであり、徐脈に対するペースング、VTに対する抗頻拍ペースングやCRTの必要のない場合
IIa	経静脈ICDの植込み適応を満たし、徐脈に対するペースング、VTに対する抗頻拍ペースングやCRTの必要がない場合
IIb	経静脈ICDの植込み適応を満たし、静脈アクセスが困難、若年者、もしくは感染の高リスクである場合

販売名：S-ICD パルスジェネレータ
医療機器承認番号：22700BZX00132000

販売名：S-ICD リード
医療機器承認番号：22700BZX00133000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。

製造販売元

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

総販売元

日本ライフライン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
<https://www.jll.co.jp>

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は 変えられる。

 **astellas**

www.astellas.com/jp/

アステラス製薬株式会社

Medtronic

Optimize the Complex PCI

Resolute Onyx™

Zotarolimus-Eluting Coronary Stent System



One more option for small vessel strategy

Resolute Onyx™ SV

Zotarolimus-Eluting Coronary Stent System

日本初*
2.0mm
DES

*Resolute Onyx SV (2019年業事承認取得時現在)

日本メドトロニック株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70

medtronic.co.jp

販売名 / 医療機器承認番号

リゾリユートオニキスコロナリーステントシステム / 22900BZX00186000

リゾリユートオニキスSVコロナリーステントシステム / 30100BZX00060000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。

© 2022 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。

TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

PHILIPS

OmniWire

A new wire from tip to tail

OmniWire プレッシャーガイドワイヤは、操作性と耐久性の向上を追求し、大径ソリッドコア構造を採用しました。大規模エビデンス^{1,2}に基づいた iFR は、アンギオ画像との co-registration が可能で、Physiology の新たな進化をもたらします。There's always a way to make life better.

innovation  you

株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

1. Davies JE, et al., DEFINE-FLAIR: A Multi-Centre, Prospective, International, Randomized, Blinded Comparison of Clinical Outcomes and Cost Efficiencies of iFR and FFR Decision-Making for Physiological Guided Coronary Revascularization. *New England Journal of Medicine*, epub March 18, 2017.
2. Gotberg M, et al., Instantaneous Wave-Free Ratio Versus Fractional Flow Reserve Guided Intervention (iFR-SWEDEHEART): A Multicenter, Prospective, Registry-Based Randomized Clinical Trial. *New England Journal of Medicine*, epub March 18, 2017.

OmniWire プレッシャーガイドワイヤ

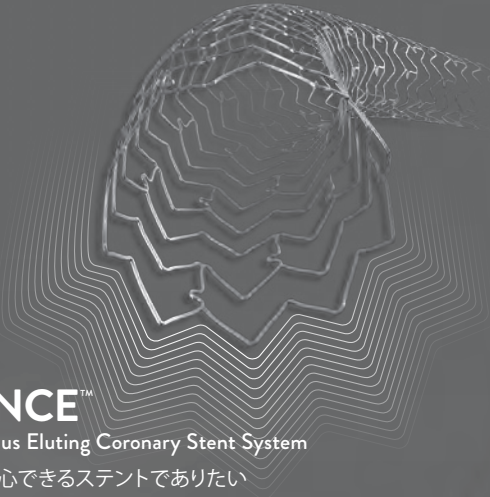
販売名: OmniWire プレッシャーガイドワイヤ
医療機器承認番号: 30200BZX00112000

販売名: SyncVision システム
医療機器承認番号: 230ACBZX00008000

販売名: IntraSight イメージング システム
医療機器承認番号: 301AFBZX00033000

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. の商標または登録商標です。
© 2020 Philips Japan, Ltd.

LIFE-CHANGING TECHNOLOGY AT THE HEART OF CARE



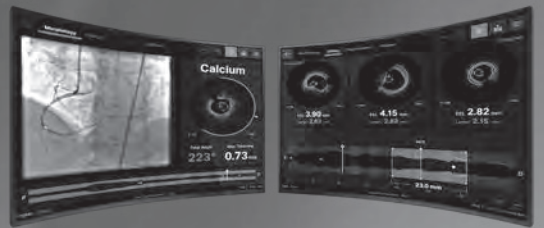
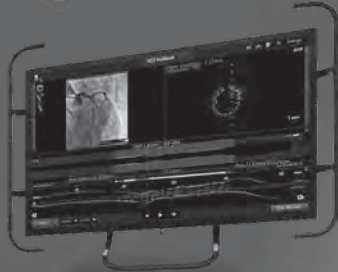
XIENCE™
Everolimus Eluting Coronary Stent System
ずっと安心できるステントでありたい



PressureWire™ X
FFRとRFR測定をワイヤレスで

Ultreon™
1.0 Software
診断をよりシンプルに、意思決定を揺るぎないものへ

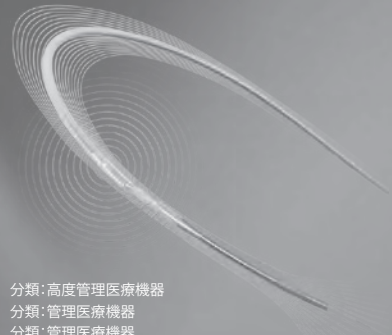
Software for the OPTIS™ System
AptiVue™
より迅速に、より正確に



Dragonfly OpStar™
治療戦略への確信をサポート



Perclose™ ProStyle™
Suture-Mediated Closure and Repair System



販売名: ドラゴンフライ オプスター OCT イメージングカテーテル
販売名: SJM FD-OCT イメージングシステム
販売名: SJM FD-OCT Integrated イメージングシステム
販売名: SJM OCT イメージングカテーテル
販売名: SJM 血管内圧測定システム
販売名: SJM プレッシャワイヤエアリス
販売名: XIENCE Skypoint 48 薬剤溶出ステント
販売名: XIENCE Skypoint 薬剤溶出ステント
販売名: XIENCE Sierra 薬剤溶出ステント
販売名: パークローズ ProStyle

医療機器承認番号: 30100BZX00237000
医療機器承認番号: 22300BZX00306000
医療機器承認番号: 22700BZX00153000
医療機器承認番号: 22300BZX00307000
医療機器認証番号: 225ADBZX00056000
医療機器承認番号: 22300BZX00469000
医療機器承認番号: 30200BZX00330000
医療機器承認番号: 30200BZX00320000
医療機器承認番号: 23000BZX00091000
医療機器承認番号: 30300BZX00158000

分類: 高度管理医療機器
分類: 管理医療機器
分類: 管理医療機器
分類: 高度管理医療機器
分類: 管理医療機器
分類: 高度管理医療機器
分類: 高度管理医療機器
分類: 高度管理医療機器
分類: 高度管理医療機器

This material is intended for use by healthcare professionals only.
Illustrations are artist's representations only and should not be considered as engineering drawings or photographs. Photos on file at Abbott.
™ Indicates a trademark of the Abbott Group of Companies. Information contained herein for use in Japan ONLY.

製造販売業者
アボットメディカルジャパン合同会社

本社: 〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号
汐留シティセンター
お問い合わせ: VASCULAR事業部
〒108-6304 東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館4F
Tel (03)4560-0780 Fax (03)4560-0781

製品の使用にあたりましては、添付文書をご確認のうえ
適正使用にご協力をお願い申し上げます。

www.cardiovascular.abbott/jp

©2022 Abbott. All rights reserved. (MAT-2214326 v1.0)





さまざまな 検査・治療シーンに

臨床用ポリグラフ RMC-5000

RMC-5000は、
 心臓カテーテル検査やアブレーション治療等
 における、さまざまなシーンで検査・治療を
 サポートする臨床用ポリグラフです。
 操作性の改善によりスタッフの負荷軽減に
 貢献します。

心臓カテーテル検査室、ハイブリッド手術室、
 頭腹部・血管造影室など、ご使用の環境に
 合わせた構成および設置が可能です。



※テーブルはイメージです

販売名：臨床用ポリグラフ RMC-5000

医療機器承認番号 | 22600BZX00399000

71AH-00061

〈製造販売〉

日本光電 東京都新宿区西落合1-31-4
 〒161-8560 ☎03(5996)8000

*カタログをご希望の方は当社までご請求ください。

<https://www.nihonkohden.co.jp/>



RAQUOS

■ 高精度な造影剤注入で、鮮明な血管造影による
 診断をサポート

■ 使いやすさと高機能を徹底追求

自動造影剤注入装置

RAQUOSインジェクションシステム

販売名:RAQUOSインジェクションシステム

一般的名称:多相電動式造影剤注入装置

医療機器承認番号:302ADBZX00087000

管理医療機器・設置管理医療機器・特定保守管理医療機器

販売名:RAQUOSディスプレイザブルキット

一般的名称:針なし造影剤用輸液セット

医療機器承認番号:303ADBZX00066000 管理医療機器



製造販売業者

DVx ディービーエックス株式会社

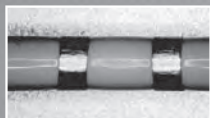
〒171-0033 東京都豊島区高田2-17-22目白中野ビル5階 ☎ <https://www.dvx.jp>

Map-iT™

Electrophysiology Catheters

リング電極

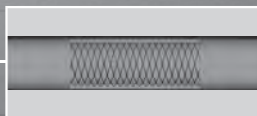
リング電極とシャフトを同サイズにすることにより、段差をなくしスムーズなトランジションを可能にします。



カテーテル先端部

独自の電極先端部の内部構造 (Step Design, Safety Cable, Soft Non-Braided Tip) により侵襲を低減します。

販 売 名: Map-iT EP 診断カテーテル
 医 療 機 器 承 認 番 号: 22800BZX00235000
 一 般 的 名 称: 心臓用カテーテル型電極
 ク ラ ス 分 類: クラスIV (高度管理医療機器)



ブレード構造

独自のフラットワイヤーブレードはトルク性、フックビリティ、形状保持力、横滑りに対する応力を向上させます。



販売元 ニプロ株式会社
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号
 (資料請求先)

製造元



製造販売元 株式会社ニューロシューティカルズ

2018年6月作成

新しい
 生きるを、
 創る。



独自技術で難病に挑み、
 ひとりの「生きる」に希望をとどける。
 ユニークな機能性食品で、
 みんなの「生きる」を健やかにする。
 新しい時代の、新しい生きるを、
 わたしたちは、創っていく。





Better Health, Brighter Future

一人でも多くの人に、かけがえのない人生をより健やかに過ごしてほしい。

タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、人々の人生を変えうる革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

タケダはこれからも、グローバルなバイオ医薬品のリーディングカンパニーとしてより健やかで輝かしい未来を、世界中の人々へお届けするために挑戦し続けます。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



ラジオアイソトープの
エキスパートとして、
人々の健康と医療の発展に
貢献してまいります。



PDRファーマ株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング
<https://www.pdradiopharma.com> TEL03-3538-3624

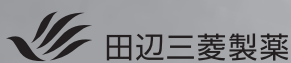
2022年5月作成

選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。



田辺三菱製薬

<https://www.mt-pharma.co.jp/>



MITSUBISHI
CHEMICAL
GROUP



SEL72J010B

選択的アルドステロンブロッカー (SAB)

処方箋医薬品^{※1}

セララ[®]錠 25mg
50mg
100mg

日本薬局方 エプレレノン錠 薬価基準収載

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

禁忌、効能・効果、用法・用量、
使用上の注意につきましては
製品添付文書をご覧ください。

製造販売
ヴィアトリス製薬株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-11-2

文献請求先及び問い合わせ先: メディカルインフォメーション部

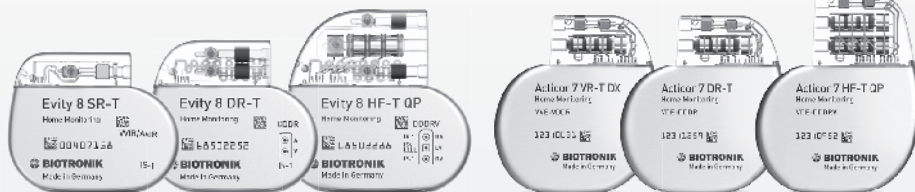
2021年10月作成



Designed for Japan,
Made in Germany

傾聴と技術力の融合。

BIOTRONIK は、日本の医療従事者のご意見を具現化しています。



製造販売業者

バイオトロンニックジャパン株式会社

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー

Tel.03-3473-7471 Fax.03-3473-7472

外国製造業者

BIOTRONIK SE & Co. KG (ドイツ連邦共和国)

製品の詳細に関しては、製品添付の医療機器添付文書をご確認いただくか、弊社営業までお問い合わせください。

販売名:バイオモニター3

販売名:エヴィティ8-T ProMRI

販売名:エヴィティ8 HF-T QP ProMRI

販売名:アクテココア7 ICD ProMRI

販売名:アクテココア7 ICD VR-T DX ProMRI

販売名:アクテココア7 CRT-D ProMRI

医療機器承認番号:30100BZX0015000

医療機器承認番号:22900BZX00307000

医療機器承認番号:22900BZX00078000

医療機器承認番号:23100BZX00029000

医療機器承認番号:23100BZX00030000

医療機器承認番号:23100BZX00028000

BIOTRONIK
excellence for life

経皮吸収型・β₁遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

β ビソ[®] テープ[®] 2mg・4mg・8mg

(ピンプロロール・テープ剤) **Biso[®] tape 2mg・4mg・8mg**

トーアイヨ
製造販売

■効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、製品添付文書をご参照下さい。

2021年10月作成
BTB5208D

[文献請求先・お問い合わせ先] トーアイヨ株式会社 信頼性保証部 / 電話 0120-387-999

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD005-TB-2103-1



薬価基準収載
選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤一

ユリス[®] 錠 0.5 mg
1 mg
2 mg

[ドチヌラド] 処方箋医薬品^(注)

URECE[®] Tablets 0.5 mg・1 mg・2 mg

注) 注意一医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



販売<文献請求先及び問い合わせ先>
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
TEL 0120-189-522 (<すり相談窓口>)



製造販売元<文献請求先及び問い合わせ先>
株式会社 富士薬品
〒330-9508 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地
TEL 048-644-3247 (カスタマーサービスセンター)

2021年5月作成 (N3)

scoreflex
TRIO
Balloon Dilatation Catheter

scoreflex® TRIO

Balloon Dilatation Catheter

経皮的冠動脈形成術用カテーテル スリッピング防止型

スコアフレックスシリーズに
スリッピング防止型バルーンが加わりました。

OrbusNeich®
Pioneers in life-changing technologies

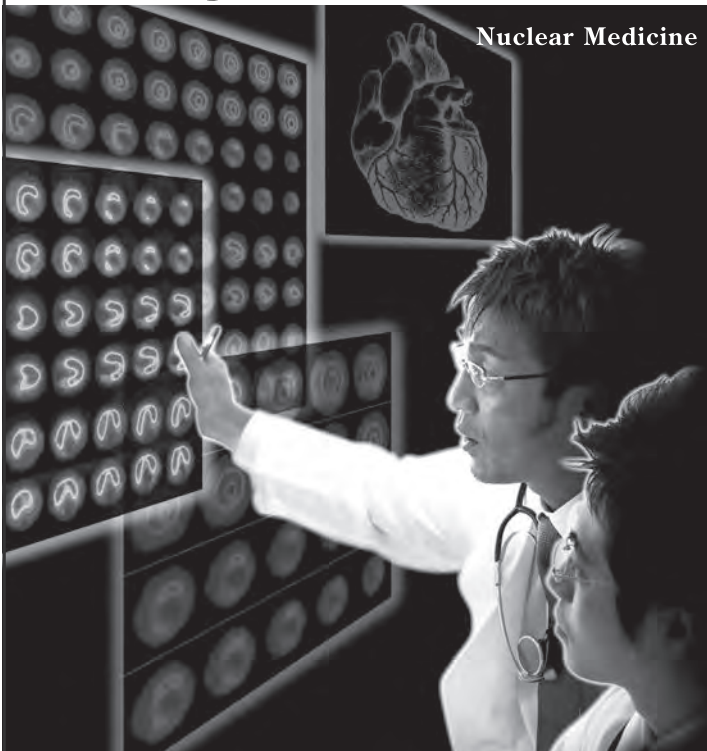
オーバスネイチメディカル株式会社

〒151-0064 東京都渋谷区上原3-6-11
TEL: 03-5738-5750 (代表) FAX: 03-5738-5758
E-Mail: info@orbusneich.jp URL: www.orbusneich.jp

販売名: ScoreFlex TRIO スリッピング防止型バルーン
承認番号: 30300BZX00219000
製造販売元: オーバスネイチメディカル株式会社
製造元: オーバスネイチメディカル社

nihon
medi+physics

Nuclear Medicine



処方箋医薬品⁽¹⁾ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬
腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)診断薬

塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注NMP

日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注射液

処方箋医薬品⁽¹⁾ 薬価基準収載

放射性医薬品・心疾患診断薬

カルディオダイナ[®] 注

放射性医薬品基準15-(4-ヨードフェニル)-
3(R,S)-メチルペンタデカン酸 (¹²⁵I) 注射液

処方箋医薬品⁽¹⁾ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー[®] 注シリンジ

放射性医薬品基準テトロホスミンテクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

処方箋医薬品⁽¹⁾ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー[®] 「注射用」

放射性医薬品基準テトロホスミンテクネチウム (^{99m}Tc) 注射液調製用

®: 登録商標

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトで
SPECT検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂

たった一度の
いのちと
歩く。



Kyowa KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成



高脂血症治療剤

薬価基準収載



パルモディア[®]錠 0.1mg

PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ヘマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2022年3月作成

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェン株式会社の詳細につきましてはこちらをご覧ください



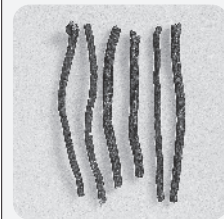
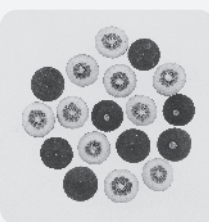
アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。

バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。

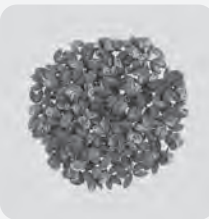
40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。

日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社 **AMGEN**[®]



生薬には、
個性がある。



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



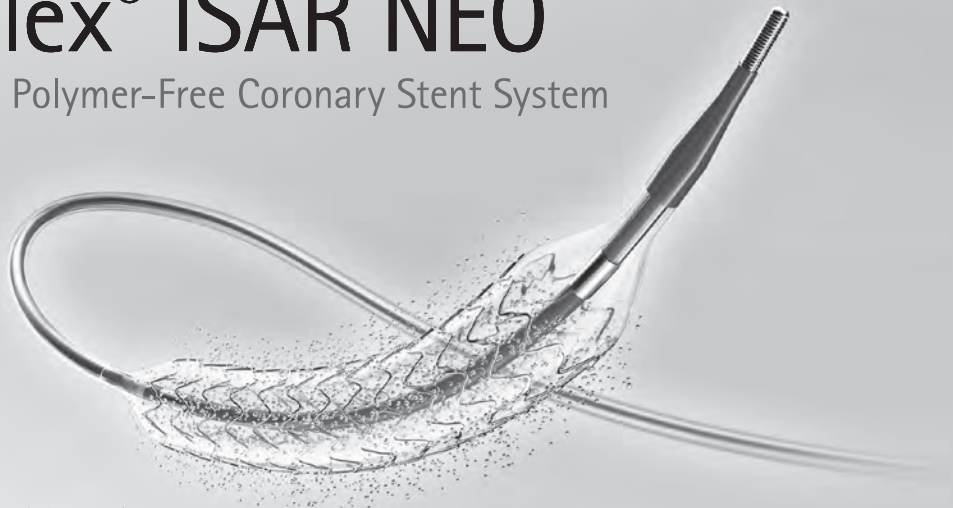
株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)

Coroflex[®] ISAR NEO

Sirolimus Eluting Polymer-Free Coronary Stent System



販売名：Coroflex ISAR Neo コロナリースtent

医療機器承認番号：30200BZX00213000

クラス分類：クラスIV(高度管理医療機器)

一般的名称：冠動脈stent

特定保険医療材料請求区分：心臓手術用カテーテル 冠動脈用stentセット 再狭窄抑制型

Coroflex[®]はB.Braun Melsungen AG.の登録商標です。



製造販売

NIPRO

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号
(資料請求先)

B | BRAUN

SHARING EXPERTISE

製造(輸入元)：
ビー Braun・ブラウン・メルズンゲンAG.
B. Braun Melsungen AG.
Vascular Systems



New Innovative Wave

「新しい医療周辺ビジネスの構築」を通じて
社会に貢献していきます

株式会社 ウィン・インターナショナル

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 21 階
TEL 03-3548-0788

※お近くの拠点はこちらから



信頼と実績と共に、新たなステージへ

*Ultimaster Nagomi*TM

シリリムス溶出コロナリースtentシステム



* Ultimasterの名称には、臨床課題の克服に貢献したいという想いが込められています。

一般的名称:冠動脈stent 販売名:アルチマスターナゴミ 医療機器承認番号:30300BZX00264000

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

※本製品の詳細は電子添文をご参照ください。

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

©テルモ株式会社 2022年3月